

XPS 13 9300

サービスマニュアル



メモ、注意、警告

 **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

 **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

 **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

© 2019 ~ 2020 Dell Inc. またはその関連会社。Dell、EMC、およびその他の商標は、Dell Inc. またはその子会社の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

1 コンピューター内部の作業	5
PC 内部の作業を始める前に.....	5
安全にお使いいただくために.....	5
ESD (静電気放出) 保護.....	6
ESD フィールド・サービス・キット.....	6
敏感なコンポーネントの輸送.....	7
PC 内部の作業を終えた後に.....	7
2 コンポーネントの取り外しと取り付け	9
推奨ツール.....	9
ネジのリスト.....	9
XPS 13 9300 の主なコンポーネント.....	10
ベースカバー.....	11
ベースカバーの取り外し.....	11
ベース カバーの取り付け.....	13
バッテリー.....	15
リチウム イオン バッテリーに関する注意事項.....	15
バッテリーの取り外し.....	15
バッテリーの取り付け.....	16
ソリッドステートデバイス.....	17
ソリッドステート ドライブの取り外し.....	17
ソリッドステートドライブの取り付け.....	18
ファン.....	20
ファンの取り外し.....	20
ファンの取り付け.....	21
ヒートシンク.....	23
ヒート シンクの取り外し.....	23
ヒート シンクの取り付け.....	23
ディスプレイアセンブリ.....	24
ディスプレイ アセンブリーの取り外し.....	24
ディスプレイ アセンブリーの取り付け.....	27
システム基板.....	30
システム ボードの取り外し.....	30
システム ボードの取り付け.....	33
パームレストとキーボードアセンブリ.....	36
パームレストとキーボード アセンブリーの取り外し.....	36
パームレストとキーボード アセンブリーの取り付け.....	36
3 ドライバおよびダウンロード	38
4 システム セットアップ	39
BIOS セットアッププログラムの起動.....	39
ナビゲーションキー.....	39
ワン タイム ブート メニュー.....	39

システム セットアップのオプション	40
Windows での BIOS のアップデート	49
BitLocker が有効なシステムでの BIOS のアップデート	50
USB フラッシュ ドライブを使用したシステム BIOS のアップデート	50
Linux および Ubuntu 環境での Dell BIOS のアップデート	51
F12 ワンタイム ブート メニューからの BIOS のフラッシュ	51
システムパスワードおよびセットアップパスワード	54
システム セットアップパスワードの割り当て	54
既存のシステム セットアップパスワードの削除または変更	55
CMOS 設定のクリア	55
BIOS (システム セットアップ) パスワードとシステム パスワードのクリア	56
5 トラブルシューティング	57
オペレーティング システムのリカバリ	57
ePSA (強化された起動前システムアセスメント) 診断	57
ePSA 診断の実行	57
システム診断ライト	58
待機電力のリリース	59
WiFi 電源の入れ直し	59
6 「困ったときは」と「デルへのお問い合わせ」	60

コンピューター内部の作業

PC 内部の作業を始める前に

このタスクについて

i **メモ:** 本書の画像は、ご注文の構成によってお使いの PC と異なる場合があります。

手順

1. 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のアプリケーションをすべて終了します。
2. PC をシャットダウンします。 **Start > Power > Shut down** の順にクリックします。
i **メモ:** 他のオペレーティングシステムを使用している場合は、お使いのオペレーティングシステムのシャットダウン方法に関するマニュアルを参照してください。
3. PC および取り付けられているすべてのデバイスをコンセントから外します。
4. キーボード、マウス、モニターなど取り付けられているすべてのネットワークデバイスや周辺機器を PC から外します。
△ **注意:** ネットワーク ケーブルを外すには、まずケーブルのプラグを PC から外し、次にケーブルをネットワークデバイスから外します。
5. すべてのメディアカードと光ディスクを PC から取り外します (取り付けられている場合)。

安全にお使いいただくために

身体の安全を守り、PC を損傷から保護するために、次の安全に関する注意に従ってください。特に記載のない限り、この文書に記載される各手順は、お使いの PC に付属の「安全にお使いいただくための注意事項」をすでにお読みいただいていることを前提とします。

- i** **メモ:** PC 内部の作業を行う前に、お使いの PC に付属している「安全にお使いいただくために」をお読みください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの詳細については、法令遵守ホームページ (www.dell.com/regulatory_compliance) をご覧ください。
- i** **メモ:** PC につないでいる電源をすべて外してから、PC カバーまたはパネルを開きます。PC 内部の作業を終えた後は、PC を電源コンセントに接続する前に、カバー、パネル、およびネジをすべて取り付けてください。
- △** **注意:** PC の損傷を避けるため、平らで乾いた清潔な場所で作業を行うようにしてください。
- △** **注意:** コンポーネントおよびカードは、損傷を避けるために端を持つようにしてください。ピンおよび接合部には触れないでください。
- △** **注意:** 許可されている、あるいは Dell テクニカルサポートチームによって指示を受けた内容のトラブルシューティングと修理のみを行うようにしてください。デルが許可していない修理による損傷は、保証できません。製品に付属の「安全にお使いいただくために」、または www.dell.com/regulatory_compliance を参照してください。
- △** **注意:** PC 内部の部品に触れる前に、PC 背面の金属部など塗装されていない金属面に触れて、身体の静電気を除去してください。作業中も、定期的に塗装されていない金属面に触れ、内蔵コンポーネントを損傷するおそれのある静電気を除去してください。
- △** **注意:** ケーブルを外すときは、コネクタまたはコネクタのプルタブを持つようにし、ケーブル自体を引っ張らないでください。一部のケーブルのコネクタ部には、ロックタブや蝶ネジが付いています。該当するケーブルを外す際には、これらを外す必要があります。ケーブルを外すときは、均等にそろえて、コネクタのピンを曲げないようにしてください。ケーブルを接続するときは、ポートとコネクタの向きが合っていることを確認してください。

△ **注意:** メディアカードリーダーに取り付けられたカードは、押して取り出します。

① **メモ:** お使いの PC の色および一部のコンポーネントは、本書で示されているものと異なる場合があります。

ESD (静電気放出) 保護

電気パーツを取り扱う際、ESD は重要な懸念事項です。特に、拡張カード、プロセッサ、メモリ DIMM、およびシステムボードなどの静電気に敏感なパーツを取り扱う際に重要です。ほんのわずかな静電気でも、断続的に問題が発生したり、製品寿命が短くなったりするなど、目に見えない損傷が回路に発生することがあります。省電力および高密度設計の向上に向けて業界が前進する中、ESD からの保護はますます大きな懸念事項となってきています。

最近のデル製品で使用されている半導体の密度が高くなっているため、静電気による損傷の可能性は、以前のデル製品よりも高くなっています。このため、以前承認されていたパーツ取り扱い方法の一部は使用できなくなりました。

ESD による障害には、「致命的」および「断続的」の 2 つの障害のタイプがあります。

- ・ **致命的** – 致命的な障害は、ESD 関連障害の約 20 % を占めます。障害によりデバイスの機能が完全に直ちに停止します。致命的な障害の一例としては、静電気ショックを受けたメモリ DIMM が直ちに「No POST/No Video (POST なし/ビデオなし)」症状を起こし、メモリが存在または機能しないことを示すビープコードが鳴るケースが挙げられます。
- ・ **断続的** – 断続的なエラーは、ESD 関連障害の約 80 % を占めます。この高い割合は、障害が発生しても、大半のケースにおいてすぐにはそれを認識することができないことを意味しています。DIMM が静電気ショックを受けたものの、トレースが弱まっただけで、外から見て分かる障害関連の症状はすぐには発生しません。弱まったトレースが機能停止するまでには数週間または数ヶ月かかることがあり、それまでの間に、メモリ整合性の劣化、断続的メモリエラーなどが発生する可能性があります。

認識とトラブルシューティングが困難なのは、「断続的」(「潜在的」または「障害を負いながら機能」とも呼ばれる) 障害です。

ESD による破損を防ぐには、次の手順を実行します。

- ・ 適切に接地された、有線の ESD リストバンドを使用します。ワイヤレスの静電気防止用リストバンドの使用は、現在許可されていません。これらのリストバンドでは、適切な保護がなされません。パーツの取り扱い前にシャーシに触れる方法では、感度が増したパーツを ESD から十分に保護することができません。
- ・ 静電気の影響を受けやすいすべてのコンポーネントは、静電気がない場所で扱います。可能であれば、静電気防止フロアパッドおよび作業台パッドを使用します。
- ・ 静電気の影響を受けやすいコンポーネントを輸送用段ボールから取り出す場合は、コンポーネントを取り付ける準備ができるまで、静電気防止梱包材から取り出さないでください。静電気防止パッケージを開ける前に、必ず身体から静電気を放出してください。
- ・ 静電気の影響を受けやすいコンポーネントを輸送する場合は、あらかじめ静電気防止コンテナまたは静電気防止パッケージに格納します。

ESD フィールド・サービス・キット

最も頻繁に使用されるサービスキットは、監視されないフィールド・サービス・キットです。各フィールド・サービス・キットは、静電対策マット、リストストラップ、そしてボンディングワイヤーの 3 つの主要コンポーネントから構成されています。

ESD フィールド・サービス・キットのコンポーネント

ESD フィールド・サービス・キットのコンポーネントは次のとおりです。

- ・ **静電対策マット** – 静電対策マットは散逸性があるため、サービス手順の間にパーツを置いておくことができます。静電対策マットを使用する際には、リストストラップをしっかりと装着し、ボンディングワイヤーをマットと作業中のシステムの地金部分のいずれかに接続します。正しく準備できたら、サービスパーツを ESD 袋から取り出し、マット上に直接置きます。ESD に敏感なアイテムは、手のひら、ESD マット上、システム内、または ESD 袋内で安全です。
- ・ **リストストラップとボンディングワイヤー** – リストストラップとボンディングワイヤーは、ESD マットが不要な場合に手首とハードウェアの地金部分に直接接続したり、マット上に一時的に置かれたハードウェアを保護するために静電対策マットに接続したりできます。皮膚、ESD マット、そしてハードウェアをつなぐ、リストストラップとボンディングワイヤーの物理的接続をボンディングと呼びます。リストストラップ、マット、そしてボンディングワイヤーが含まれたフィールド・サービス・キットのみを使用してください。ワイヤレスのリストストラップは使用しないでください。リストストラップの内部ワイヤーは、通常の装着によって損傷が発生します。よって、事故による ESD のハードウェア損傷を避けるため、リスト・ストラップ・テスターを使用して定期的な確認する必要があります。リストストラップとボンディングワイヤーは少なくとも週に一度テストすることをお勧めします。
- ・ **ESD リスト・ストラップ・テスター** – ESD ストラップの内側にあるワイヤーは、時間の経過に伴って損傷を受けます。監視されないキットを使用する場合には、サービスコールのたびに定期的にストラップをテストすることがベストプラクティスです。最低でも週に一度テストします。テストには、リスト・ストラップ・テスターを使用することが最善です。リスト・ストラップ・テ

ターを所有していない場合には、地域オフィスに在庫を問い合わせてください。テストを実行するには、リストストラップを手首に装着した状態で、リストストラップのボンディングワイヤーをテスターに接続し、ボタンを押してテストを行います。テスト合格の場合には緑のLEDが点灯し、テスト不合格の場合には赤いLEDが点灯し、アラームが鳴ります。

- ・ **絶縁体要素** – プラスチック製のヒートシンクの覆いなど、ESDに敏感なデバイスを、高く帯電していることが多いインシュレータ内蔵パーツから遠ざけることが重要です。
- ・ **作業現場環境** – ESD フィールド・サービス・キットを配備する前に、お客様の場所の状況を評価します。たとえば、サーバ環境用にキットを配備するのと、デスクトップや携帯デバイス用にキットを配備することは異なります。サーバは通常、データセンター内のラックに設置され、デスクトップや携帯デバイスはオフィスのデスク上か、仕切りで区切られた作業場所に配置されます。物品が散乱しておらずESDキットを広げるために十分な平らな広いエリアを探してください。このとき、修理対象のシステムのためのスペースも考慮してください。また、作業場所にESDの原因と成り得る絶縁体がないことも確認します。ハードウェアコンポーネントを実際に取り扱う前に、作業場所では常に発泡スチロールおよびその他のプラスチックなどのインシュレータは敏感なパーツから最低30 cm (12 インチ) 離して置きます。
- ・ **静電気を防止する梱包** – すべてのESDに敏感なデバイスは、静電気の発生しない梱包材で発送および受領する必要があります。メタルアウト/静電気防止袋の使用をお勧めします。なお、損傷した部品は、新しい部品が納品されたときと同じESD保護袋とパッケージを使用して返却される必要があります。ESD保護袋は折り重ねてテープで封をし、新しい部品が納品されたときの箱に同じエアクッション梱包材をすべて入れてください。ESDに敏感なデバイスは、ESD保護の作業場でのみパッケージから取り出すようにします。ESD保護袋では、中身のみ保護されるため、袋の表面に部品を置かないでください。パーツは常に、手の中、ESDマット上、システム内、または静電気防止袋内にあるようにしてください。
- ・ **敏感なコンポーネントの輸送** – 交換用パーツやデルに返却するパーツなど、ESDに敏感なパーツを輸送する場合には、安全に輸送するため、それらのパーツを静電気防止袋に入れることが非常に重要です。

ESD 保護の概要


すべてのフィールドサービス技術者は、デル製品を保守する際には、従来型の有線ESD接地リストバンドおよび保護用の静電対策マットを使用することをお勧めします。さらに技術者は、サービスを行う際に、静電気に敏感なパーツからあらゆる絶縁体パーツを遠ざけ、静電気に敏感なパーツの運搬には静電気防止バッグを使用することが非常に重要です。

敏感なコンポーネントの輸送

交換パーツまたはデルに返送する部品など、ESDに敏感なコンポーネントを輸送する場合は、安全輸送用の静電気防止袋にこれらの部品を入れることが重要です。

装置の持ち上げ


重量のある装置を持ち上げる際は、次のガイドラインに従います。

 **注意:** 50 ポンド以上の装置は持ち上げないでください。常に追加リソースを確保しておくか、機械のリフトデバイスを使用します。

1. バランスの取れた足場を確保します。足を開いて安定させ、つま先を外に向けます。
2. 腹筋を締めます。腹筋は、持ち上げる際に背骨を支え、負荷の力を弱めます。
3. 背中ではなく、脚を使って持ち上げます。
4. 荷を身体に近づけます。背骨に近づけるほど、背中に及ぶ力が減ります。
5. 荷を持ち上げるときも降ろすときも背中を伸ばしておきます。荷に体重をかけてないでください。身体や背中をねじらないようにします。
6. 反対に荷を置くときも、同じ手法に従ってください。

PC 内部の作業を終えた後に

このタスクについて

 **注意:** PC 内部にネジが残っていたり、緩んでいたりすると、PC に深刻な損傷を与える恐れがあります。

手順

1. すべてのネジを取り付けて、PC 内部に外れたネジが残っていないことを確認します。
2. PC での作業を始める前に、取り外したすべての外付けデバイス、周辺機器、ケーブルを接続します。
3. PC での作業を始める前に、取り外したすべてのメディアカード、ディスク、その他のパーツを取り付けます。
4. PC、および取り付けられているすべてのデバイスをコンセントに接続します。

5. PC の電源を入れます。

コンポーネントの取り外しと取り付け

推奨ツール

この文書で説明する操作には、以下のツールが必要です。

- ・ プラスドライバー No.0
- ・ プラスドライバー No.1
- ・ トルクスドライバー (T5)
- ・ プラスチックスクライブ

ネジのリスト

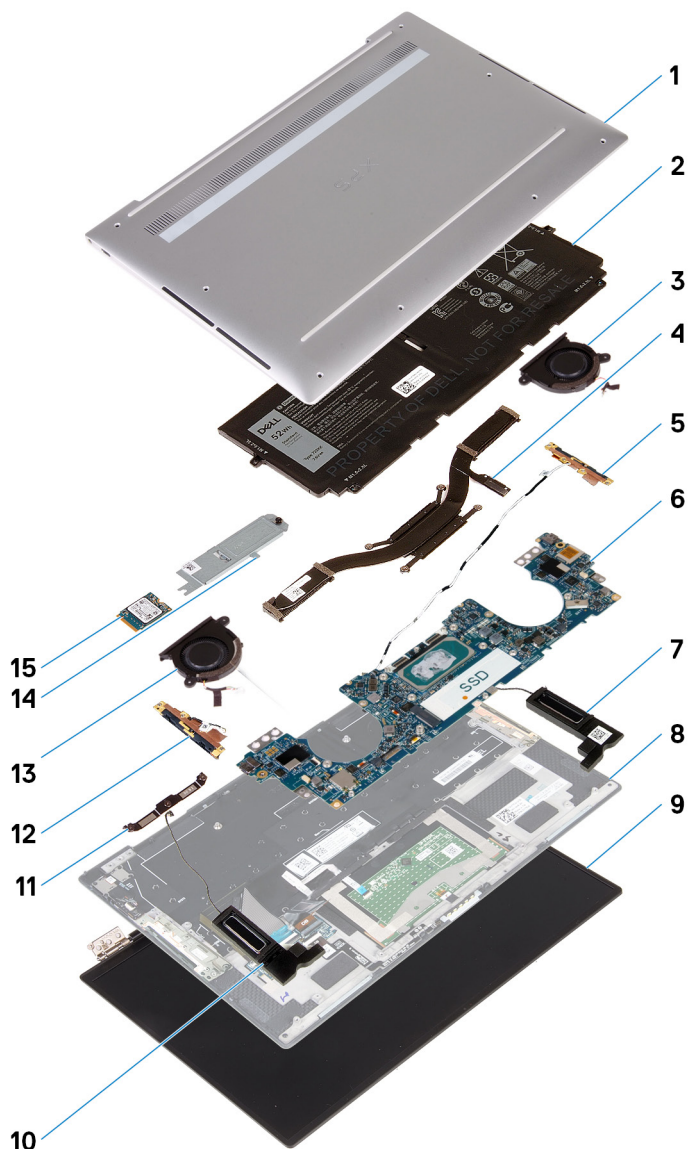
- ① メモ:** コンポーネントからネジを取り外す際は、ネジの種類、ネジの数量をメモし、その後ネジの保管箱に入れておくことをお勧めします。これは、コンポーネントを交換する際に正しいネジの数量と正しいネジの種類を保管しておくようにするためです。
- ② メモ:** 一部のコンピューターには、磁性面があります。コンポーネントを交換する際、ネジが磁性面に取り付けられたままになっていないことを確認してください。
- ③ メモ:** ネジの色は、発注時の構成によって異なります。

表1. ネジのリスト

コンポーネント	固定先	ネジの種類	数	ネジの画像
ベースカバー	パームレストとキーボードアセンブリー	M2x3、トルクス 5	8	
バッテリー	パームレストとキーボードアセンブリー	M1.6x2.5	5	
ソリッドステートドライブブラケット	システム ボード	M2x3	1	
ファン	システム ボード	M1.6x2.5	4	
ディスプレイアセンブリーケーブルホルダー	システム ボード	M1.2x2	3	
ディスプレイアセンブリーのヒンジ	パームレストとキーボードアセンブリー	M2.5x4.5	6	
システム ボード	パームレストとキーボードアセンブリー	M1.6x1.5	4	
システム ボード	パームレストとキーボードアセンブリー	M1.2x2	3	
システム ボード	パームレストとキーボードアセンブリー	M1.4x4	4	

XPS 13 9300 の主なコンポーネント

次の画像は、XPS 13 9300 の主要なコンポーネントを示しています。



1. ベースカバー
2. バッテリー
3. 左側のファン
4. ヒートシンク
5. 左アンテナ
6. システムボード
7. 左側のスピーカー
8. パームレストとキーボードアセンブリー
9. ディスプレイアセンブリー
10. 右スピーカー
11. ディスプレイケーブルブラケット
12. 右アンテナ
13. 右側のファン
14. ソリッドステートドライブシールド
15. ソリッドステートドライブ

① **メモ:** デルでは、システム購入時の初期構成のコンポーネントとパーツ番号のリストを提供しています。これらのパーツは、お客様が購入した保証対象に応じて提供されます。購入オプションについては、デルのセールス担当者にお問い合わせください。

ベースカバー

ベースカバーの取り外し

前提条件

1. PC 内部の作業を始める前に の手順に従います。

このタスクについて

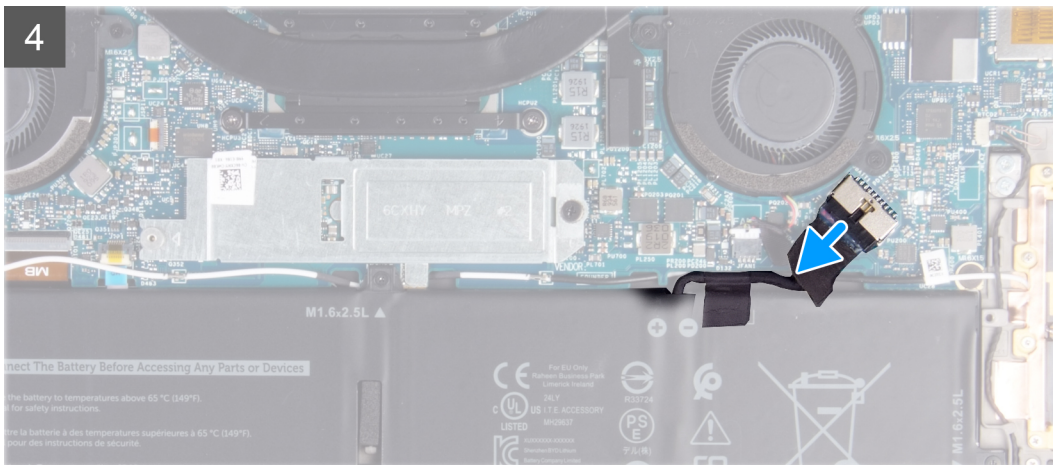
次のイメージは、ベース カバーの場所を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



8x
M2x3, Torx 5







手順

1. ベースカバーをパームレストとキーボードアセンブリーに固定している8本のネジ（M2x3、トルクス5）を取り外します。
2. 左下隅から順に、プラスチックスクライブを使用してベースカバーを矢印の方向に持ち上げ、ベースカバーをパームレストとキーボードアセンブリーから外します。
△注意: ベースカバーを損傷する可能性があるため、ヒンジのある側からベースカバーを引き出さないでください。
3. ベースカバーの両側を持ち、ベースカバーを下から上に回転させて、パームレストとキーボードアセンブリーから取り外します。
ⓘメモ: ベースカバーの底面にあるアンテナとオーディオボードの接地用ピンは壊れやすいものです。ピンの損傷を防ぐため、ベースカバーを清潔な面に置きます。
ⓘメモ: 次の手順は、PCから他のコンポーネントをさらに取り外す場合のみ行います。
4. プルタブを使用して、バッテリーケーブルをシステムボードから外します。
5. 待機電力を逃がすため、PCの向きを変えて電源ボタンを15秒間押し続けます。

ベースカバーの取り付け

前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

次のイメージは、ベースカバーの場所を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。





8x
M2x3, Torx 5



手順

1. 必要に応じて、バッテリーケーブルをシステム ボードに接続します。
2. ベースカバーのネジ穴をパームレストとキーボード アセンブリーのネジ穴に合わせて、ベース カバーを所定の位置にはめ込みます。

3. ベースカバーをパームレストとキーボードアセンブリーに固定する8本のネジ(M2x3、トルクス5)を取り付けます。

次の手順

1. 「PC内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

バッテリー

リチウムイオンバッテリーに関する注意事項

△注意:

- リチウムイオンバッテリーを取り扱う際は、十分に注意してください。
- システムから取り外す前に、できる限りバッテリーを放電してください。放電は、システムからACアダプタを取り外してバッテリーを消耗させることで実行できます。
- バッテリーを破壊したり、落としたり、損傷させたり、バッテリーに異物を侵入させたりしないでください。
- バッテリーを高温にさらしたり、バッテリーパックまたはセルを分解したりしないでください。
- バッテリーの表面に圧力をかけないでください。
- バッテリーを曲げないでください。
- 種類にかかわらず、ツールを使用してバッテリーをこじ開けないでください。
- バッテリーやその他のシステムコンポーネントの偶発的な破裂や損傷を防ぐため、この製品のサービス作業中に、ネジを紛失したり置き忘れたりしないようにしてください。
- 膨張によってリチウムイオンバッテリーがコンピュータ内で詰まってしまう場合、穴を開けたり、曲げたり、押しつぶしたりすると危険なため、無理に取り出そうとしないでください。そのような場合は、デルテクニカルサポートにお問い合わせください。www.dell.com/contactdellを参照してください。
- 必ず、www.dell.comまたはDell認定パートナーおよび再販業者から正規のバッテリーを購入してください。

バッテリーの取り外し

前提条件

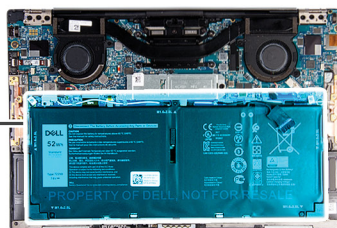
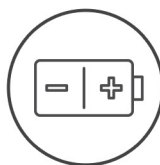
1. PC内部の作業を始める前
2. ベースカバーを取り外します。

このタスクについて

次の図は、バッテリーの場所を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



5x
M1.6x2.5



手順

1. バッテリーをパームレストとキーボード アセンブリーに固定している 5 本のネジ (M1.6x2.5) を外します。
2. バッテリー ケーブルをシステム ボードから外します。
3. バッテリーを持ち上げて、パームレストとキーボード アセンブリーから取り外します。

バッテリーの取り付け

前提条件

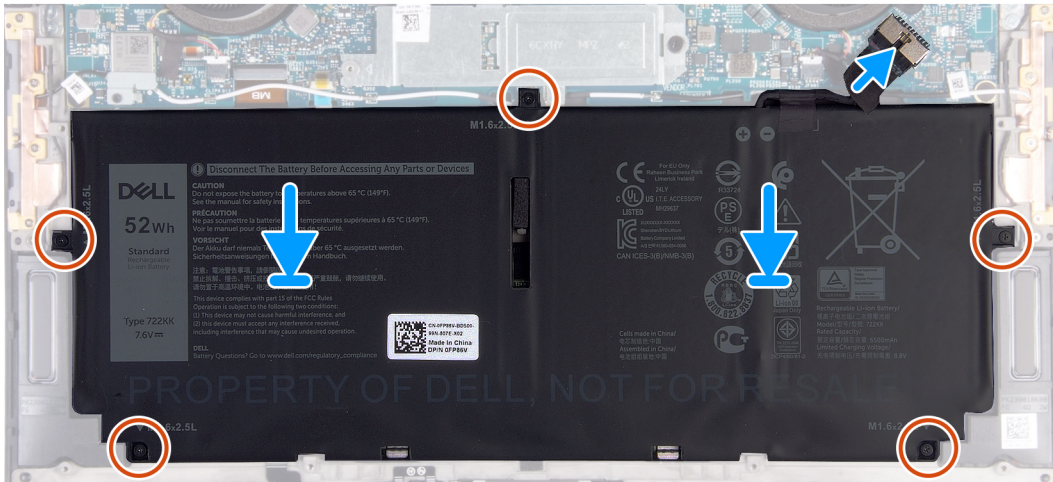
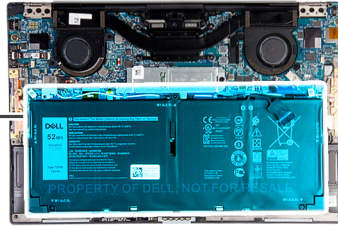
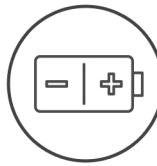
コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

次の図は、バッテリーの場所を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



5x
M1.6x2.5



手順

1. バッテリーのネジ穴をパームレストとキーボードアセンブリのネジ穴に合わせます。
2. バッテリーをパームレストとキーボードアセンブリに固定する5本のネジ (M1.6x2.5) を取り付けます。
3. バッテリーケーブルをシステムボードに接続します。

次の手順

1. ベースカバーを取り付けます。
2. 「PC 内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

ソリッドステートデバイス

ソリッドステートドライブの取り外し

前提条件

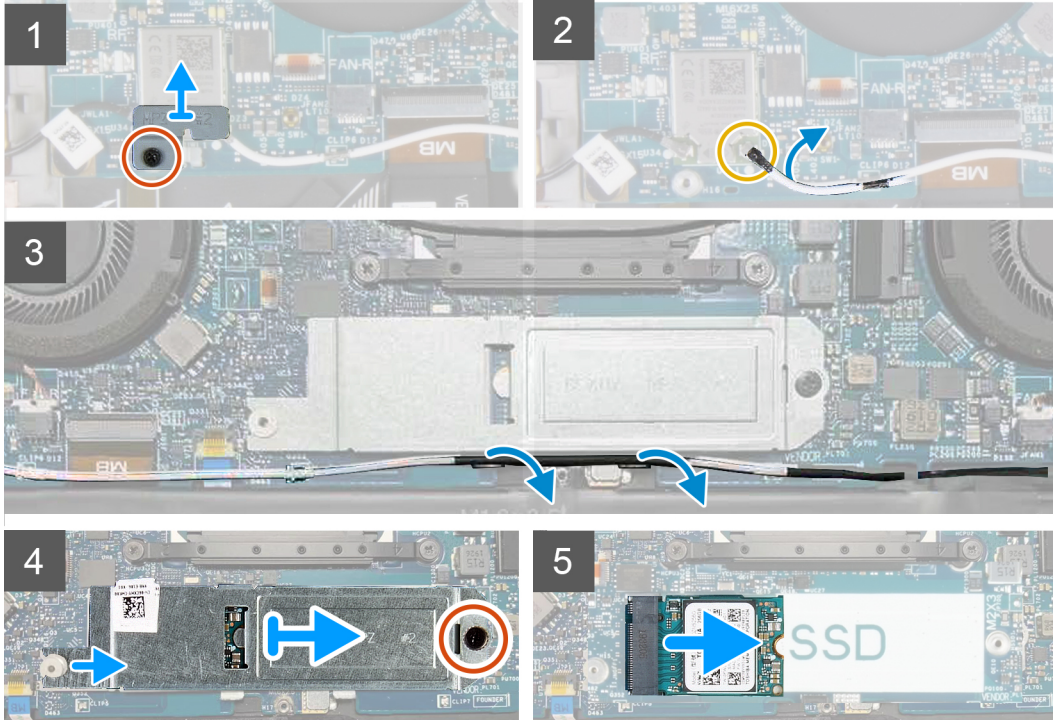
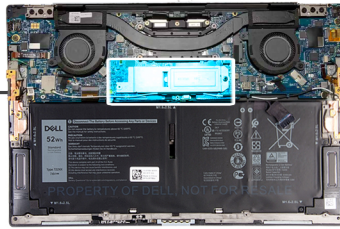
1. PC 内部の作業を始める前
1. **注意:** ソリッドステートドライブは非常に壊れやすいものです。取り扱う場合は細心の注意を払ってください。
1. **注意:** データロスを防ぐため、PC の電源が入っている状態、またはスリープ状態のときにソリッドステートドライブを取り外さないでください。
2. ベースカバーを取り外します。

このタスクについて

次の図は、ソリッドステートドライブの場所を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



1x
M2x3



手順

1. ワイヤレスカード ブラケットをシステム ボードに固定する拘束ネジを緩めます。
2. ワイヤレスカード ブラケットを持ち上げて、システム ボードから取り外します。
3. プラスチック スクリューを使用して、左側のアンテナ ケーブルをワイヤレス カードから外します。
4. 左側のアンテナ ケーブルのルーティングに注意します。
5. ワイヤレス カードから順に、それぞれのアンテナに向かって各アンテナ ケーブルをルーティング ガイドから取り外します。
6. ソリッドステート ドライブ シールドとソリッドステート ドライブをシステム ボードに固定しているネジ (M2x3) を外します。
7. ソリッドステート ドライブ シールドを位置合わせポストからスライドさせ、ソリッドステート ドライブ シールドを持ち上げてシステム ボードから取り外します。
8. ソリッドステート ドライブをスライドさせて、ソリッドステート ドライブ スロットから取り外します。

ⓘ **メモ:** ソリッドステート ドライブ シールドのサイズは、**配送時に PC に同梱されているソリッドステート ドライブのサイズに固有のものとなっています。** ソリッドステート ドライブ シールドを、異なるサイズのソリッドステート ドライブに使用することはできません。

ソリッドステートドライブの取り付け

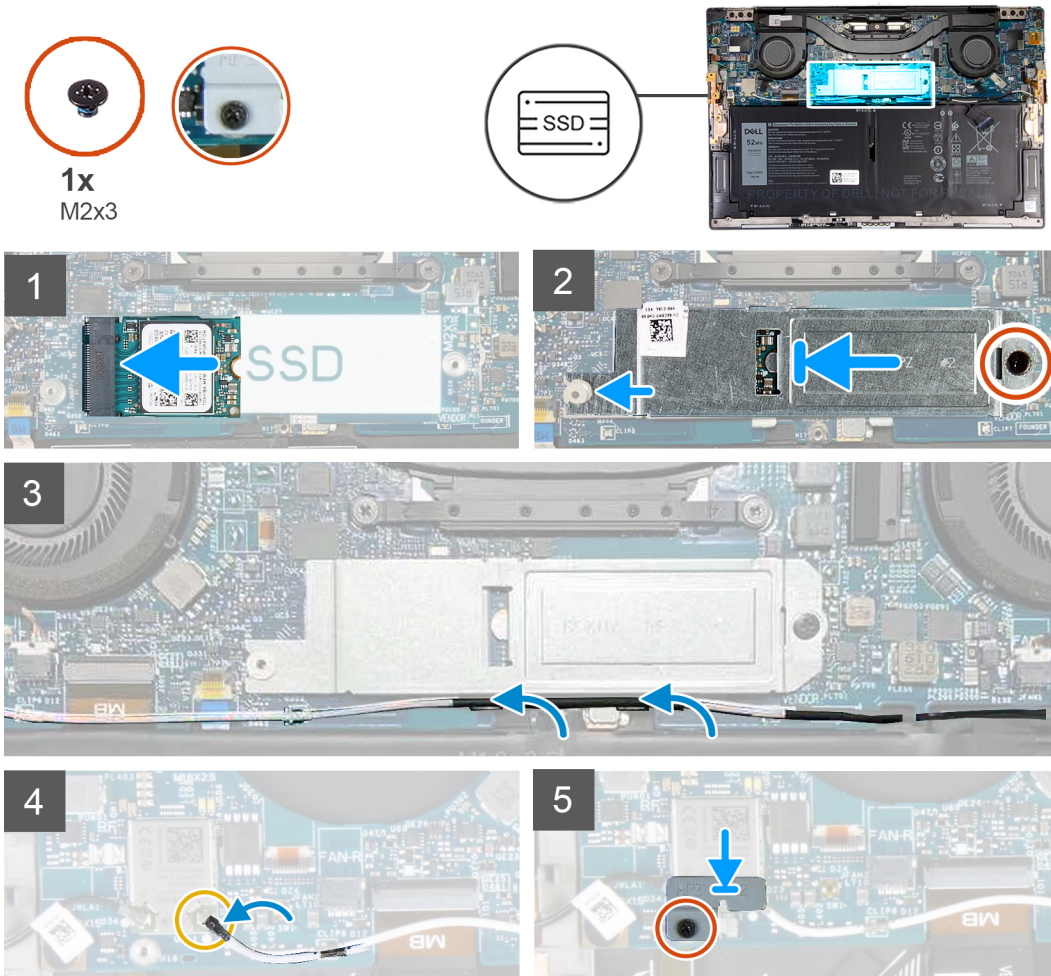
前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

△ **注意:** ソリッドステートドライブは非常に壊れやすいものです。取り扱う場合は細心の注意を払ってください。

このタスクについて

次の図は、ソリッドステートドライブの場所を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



手順

1. ソリッドステートドライブの切り込みをソリッドステートドライブスロットのタブの位置に合わせます。
2. ソリッドステートドライブをソリッドステートドライブスロットにゆっくりと差し込みます。
3. ソリッドステートドライブシールドを位置合わせポストの位置に合わせ、ソリッドステートドライブシールドのネジ穴をシステムボードのネジ穴の位置に合わせます。
ⓘ メモ: ソリッドステートドライブシールドのサイズは、配送時に PC に同梱されているソリッドステートドライブのサイズに固有のものとなっています。ソリッドステートドライブシールドを、異なるサイズのソリッドステートドライブに使用することはできません。
4. ソリッドステートドライブシールドとソリッドステートドライブをシステムボードに固定する (M2x3) を取り付けます。
5. 左側のアンテナケーブルを、システムボードのルーティングガイドに沿ってワイヤレスカードの方向にルーティングします。
6. 左側のアンテナケーブルをワイヤレスカードに接続します。
7. ワイヤレスカードブラケットのネジ穴をシステムボードのネジ穴に合わせます。
ⓘ メモ: ワイヤレスカードブラケットのタブがシステムボードのスロットに挿入されていることを確認します。
8. ワイヤレスカードブラケットをシステムボードに固定する拘束ネジを締めます。

次の手順

1. ベースカバーを取り付けます。
2. 「PC 内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

ファン

ファンの取り外し

前提条件

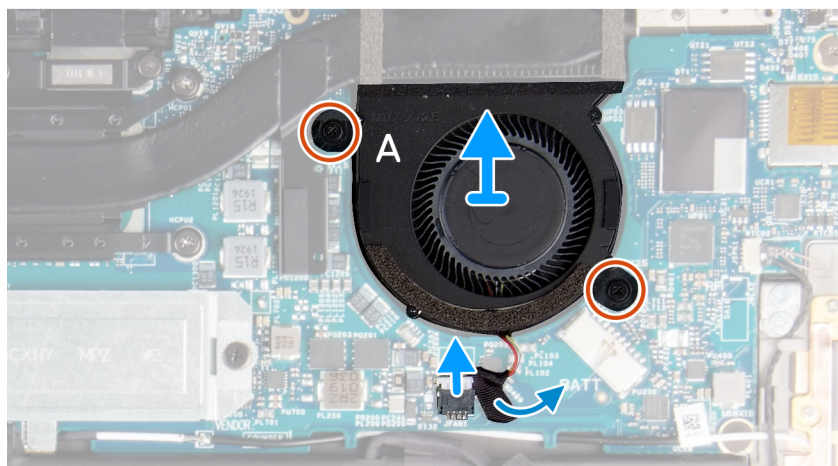
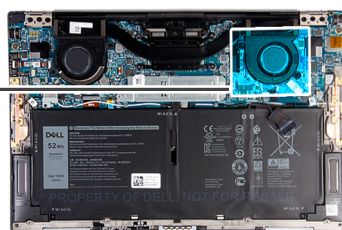
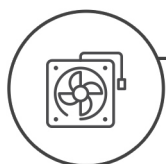
1. PC 内部の作業を始める前の手順に従います。
2. ベース カバーを取り外します。

このタスクについて

次の画像はファンの位置を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。

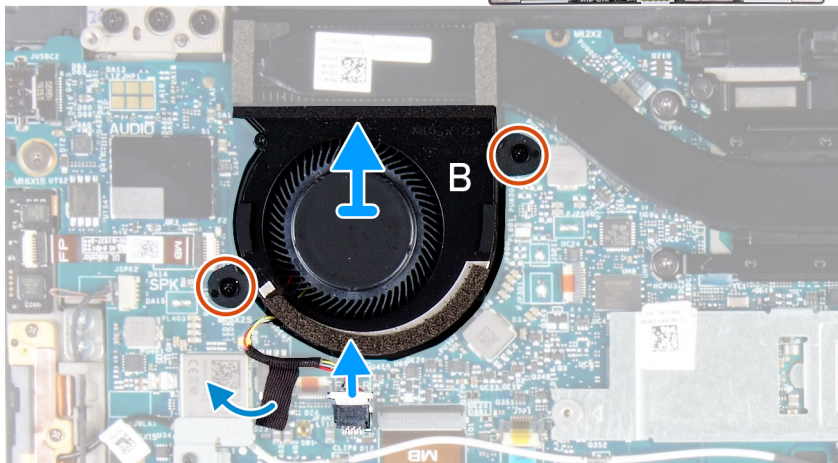
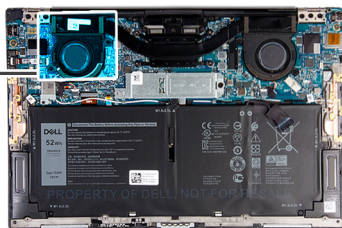
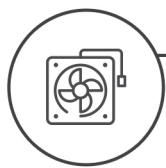


2x
M1.6x2.5





2x
M1.6x2.5



手順

1. ファン A ケーブルをシステム ボードに固定しているテープをはがします。
2. ファン A ケーブルをシステム ボードから外します。
3. ファン A をシステム ボードに固定しているネジ (M1.6x2.5) 2 本を取り外します。
4. ファン A を持ち上げて、システム ボードから取り外します。
5. ファン B ケーブルをシステム ボードに固定しているテープをはがします。
6. ファン B ケーブルをシステム ボードから外します。
7. ファン B をシステム ボードに固定しているネジ (M1.6x2.5) 2 本を取り外します。
8. ファン B を持ち上げて、システム ボードから取り外します。

ファンの取り付け

前提条件

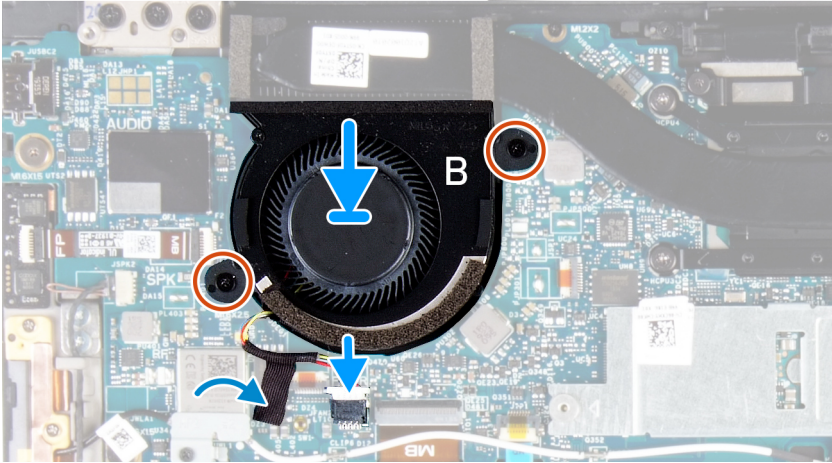
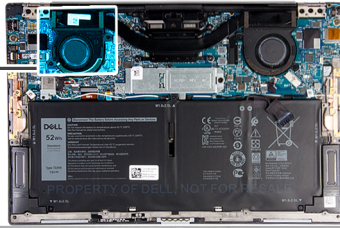
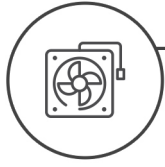
コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

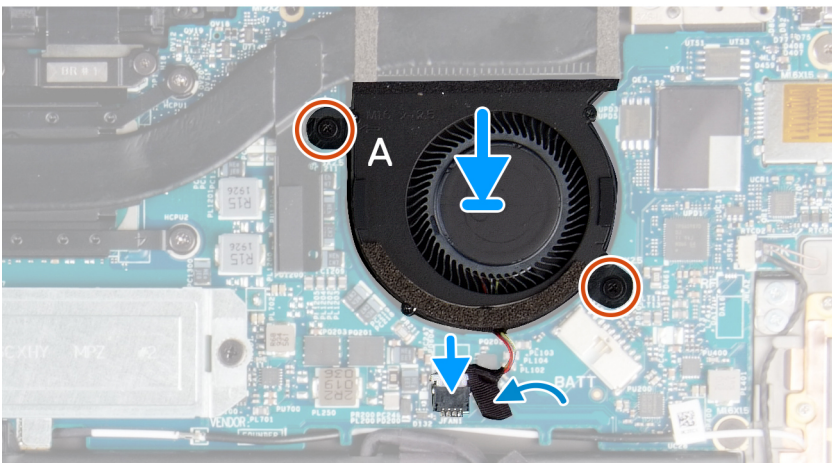
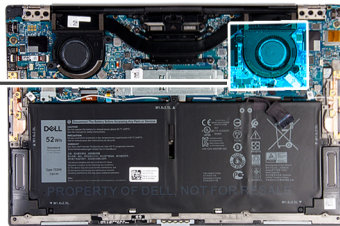
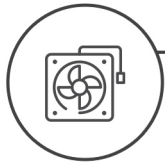
次の画像はファンの位置を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



2x
M1.6x2.5



2x
M1.6x2.5



手順

1. ファンBのネジ穴をシステムボードのネジ穴の位置に合わせます。
2. ファンBをシステムボードに固定するネジ(1.6x2.5)2本を取り付けます。
3. ファンBケーブルをシステムボードに接続します。
4. ファンBケーブルをシステムボードに固定するテープを貼り付けます。
5. ファンAのネジ穴をシステムボードのネジ穴の位置に合わせます。
6. ファンAをシステムボードに固定するネジ(1.6x2.5)2本を取り付けます。
7. ファンAケーブルをシステムボードに接続します。
8. ファンAケーブルをシステムボードに固定するテープを貼り付けます。

次の手順

1. ベースカバーを取り付けます。
2. 「PC 内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

ヒートシンク

ヒートシンクの取り外し

前提条件

1. PC 内部の作業を始める前にこの手順に従います。

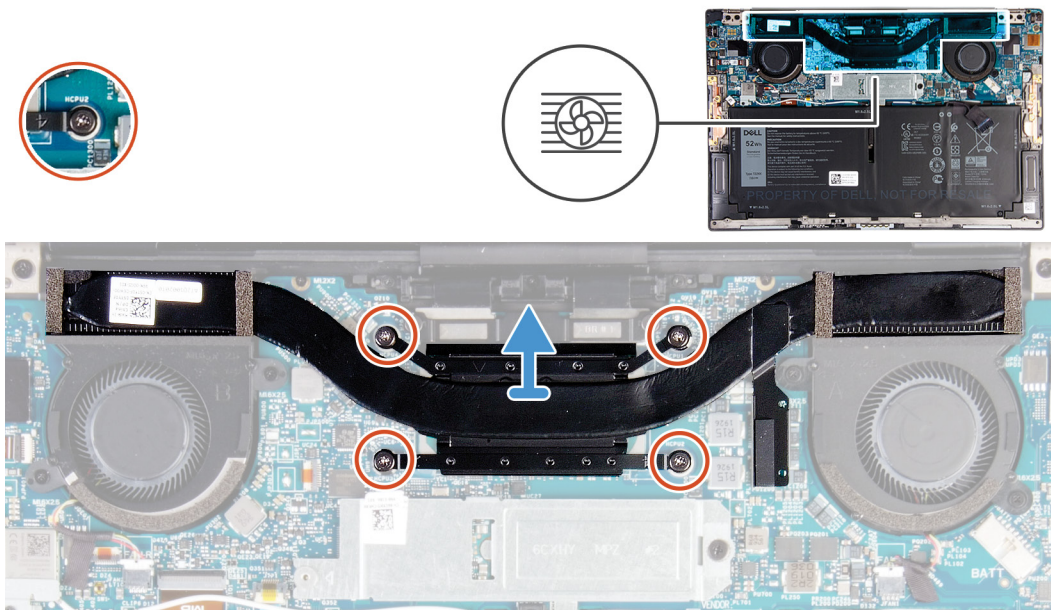
△ 注意: プロセッサの冷却効果を最大にするために、ヒートシンクの放熱部分には触れないでください。油脂が付着すると、サーマルグリースの放熱能力が低下する場合があります。

i メモ: 通常の動作中、ヒートシンクが高温になる場合があります。温度が十分に下がりヒートシンクが冷えるのを待って、触ってください。

2. ベースカバーを取り外します。

このタスクについて

次の図は、ヒートシンクの場所を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



手順

1. ヒートシンク上の表示とは逆のシーケンシャルな順序で、ヒートシンクをシステムボードに固定している4本の拘束ネジを緩めます。
2. ヒートシンクを持ち上げて、システムボードから取り外します。

ヒートシンクの取り付け

前提条件

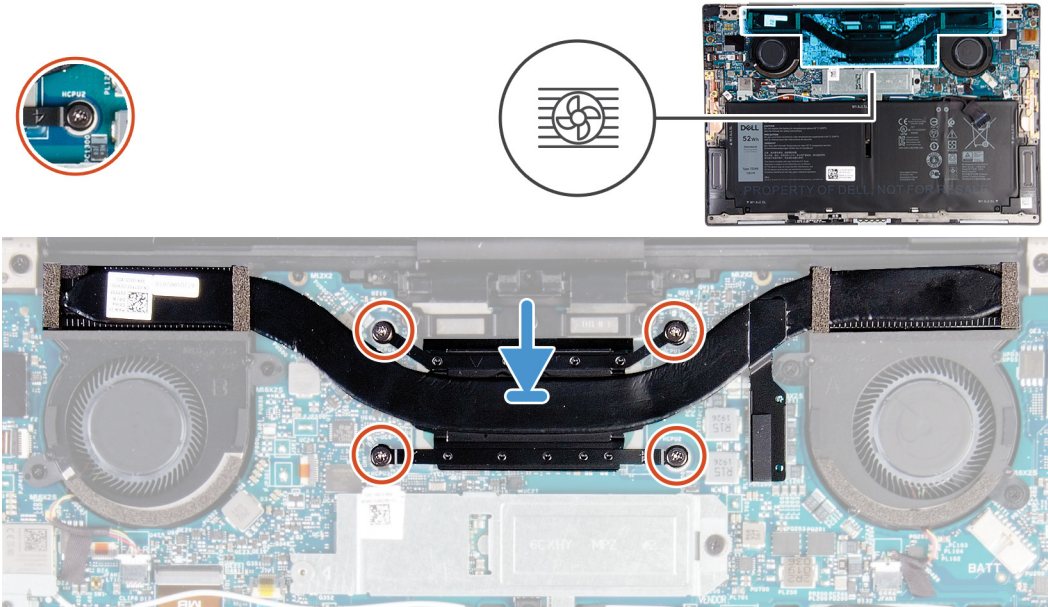
コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

△ 注意: ヒートシンクの位置が正しく合っていないと、システムボードとプロセッサを損傷する可能性があります。

メモ: システム ボードまたはヒート シンクのいずれかを取り付ける場合は、熱伝導性を確保するために、キット内のサーマルパッド/ペーストを使用してください。

このタスクについて

次の図は、ヒート シンクの場所を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



手順

1. ヒート シンクのネジ穴をシステム ボードのネジ穴に合わせます。
2. ヒート シンク上に表示されているシーケンシャルな順序で、ヒート シンクをシステム ボードに固定する 4 本の拘束ネジを締めます。

次の手順

1. ベースカバーを取り付けます。
2. 「PC 内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

ディスプレイアセンブリ

ディスプレイアセンブリの取り外し

前提条件

1. PC 内部の作業を始める前
2. ベースカバーを取り外します。

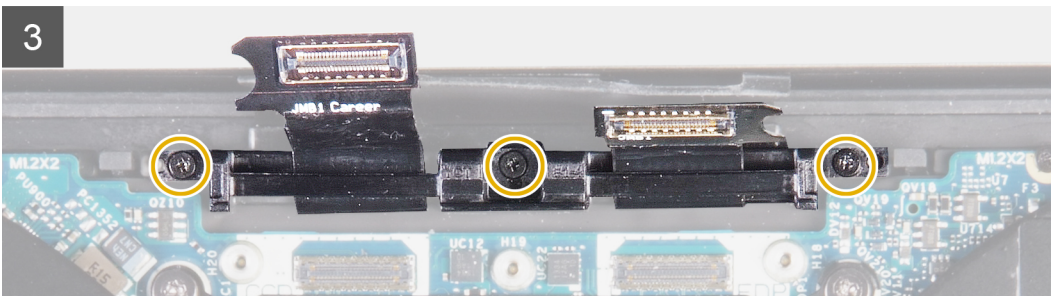
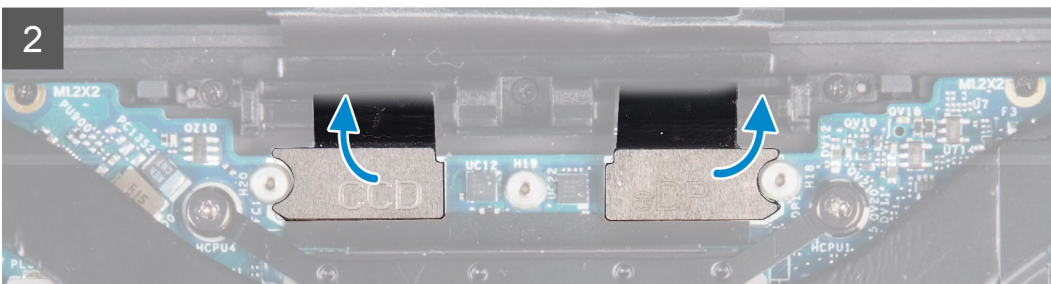
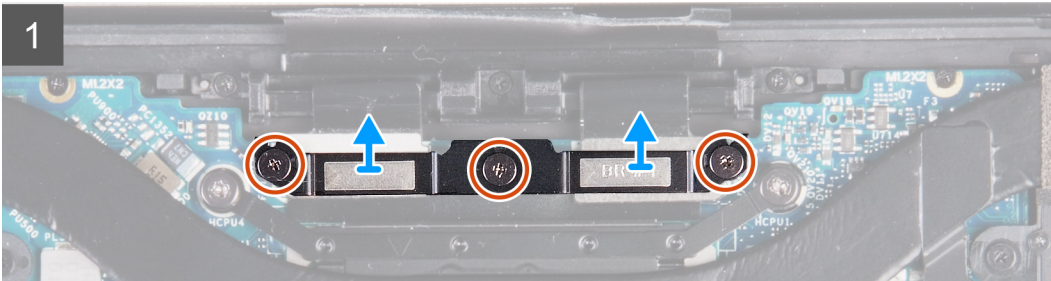
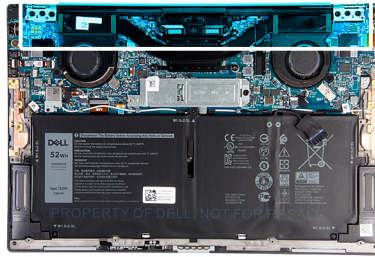
このタスクについて

次の画像はディスプレイアセンブリの場所を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。

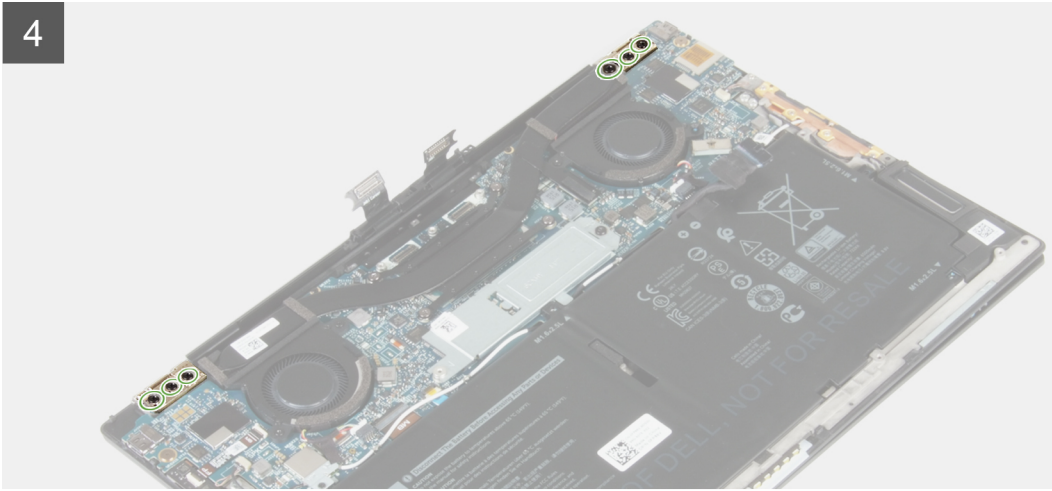


3x
M1.2x2

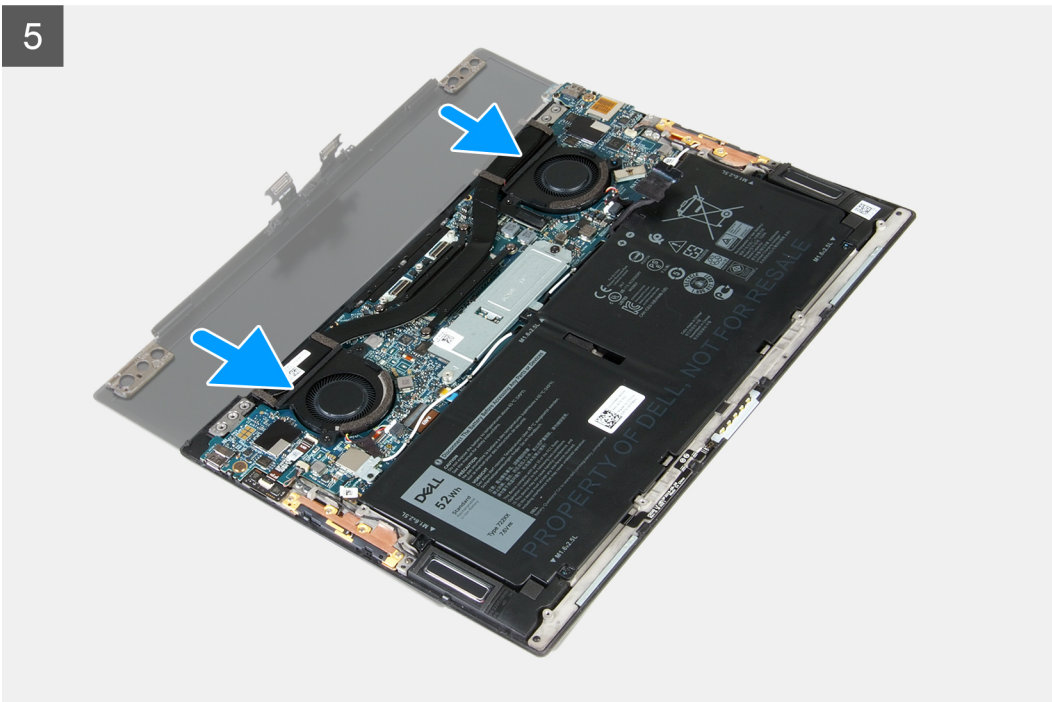
6x
M2.5x4.5



4



5



手順

1. ディスプレイアセンブリーケーブル ブラケットをシステム ボードに固定している3本の拘束ネジを緩めます。
2. ディスプレイアセンブリーケーブル ブラケットを持ち上げ、システム ボードから取り外します。
3. カメラ ケーブルとモニター ケーブルをシステム ボードから外します。
4. ディスプレイアセンブリーケーブル ホルダーをパームレストとキーボード アセンブリーに固定している3本のネジ (M1.2x2) を外します。
5. 左のヒンジをシステム ボードおよびパームレストとキーボード アセンブリーに固定している3本のネジ (M2.5x4.5) を外します。
6. 右のヒンジをシステム ボードおよびパームレストとキーボード アセンブリーに固定している3本のネジ (M2.5x4.5) を外します。
7. パームレストとキーボード アセンブリーをディスプレイ アセンブリーからスライドさせます。
8. 前述の手順をすべて実行すると、ディスプレイ アセンブリーが残ります。



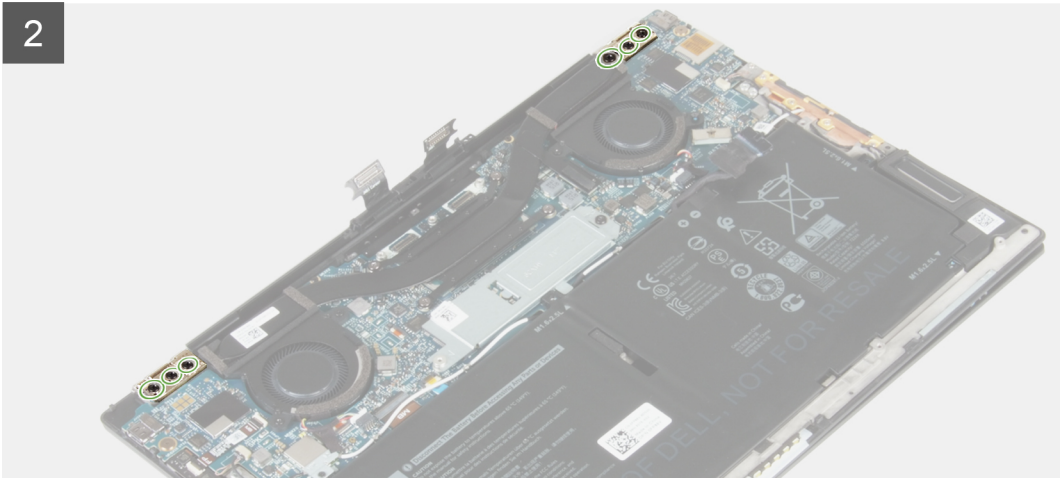
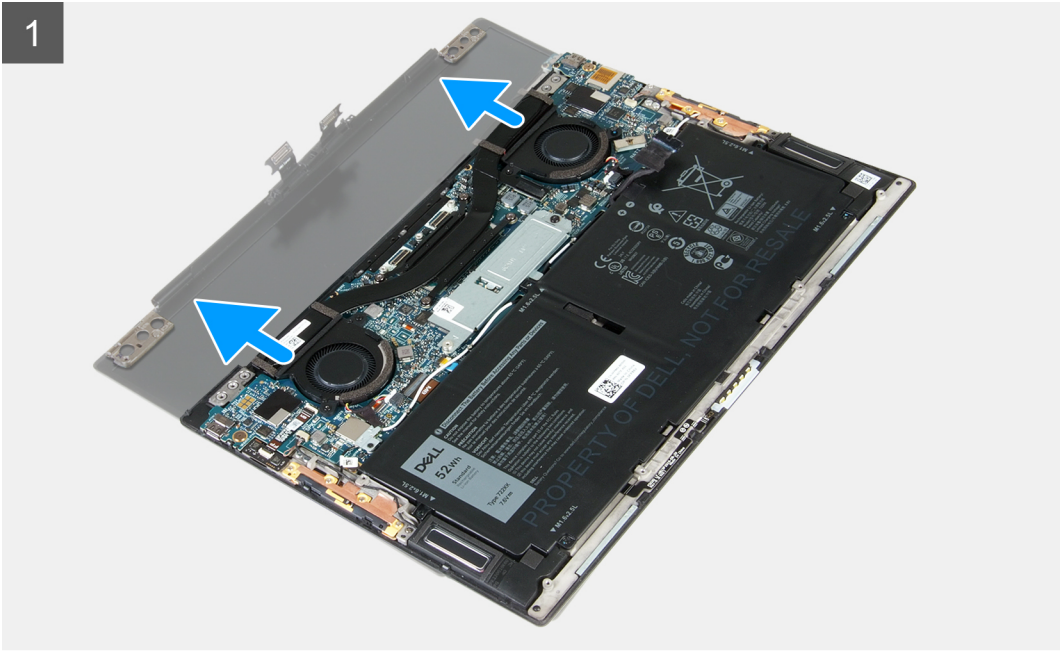
ディスプレイアセンブリの取り付け

前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

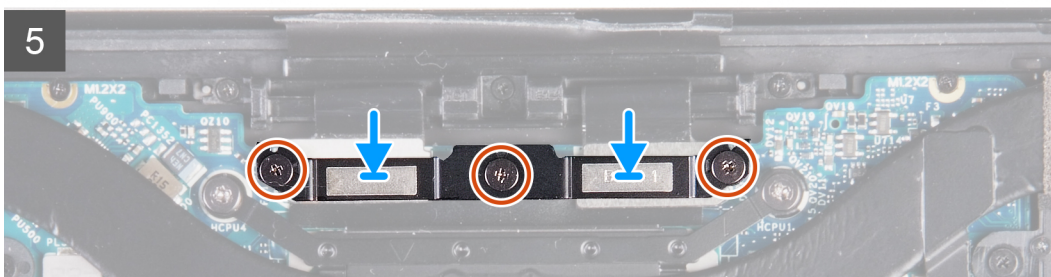
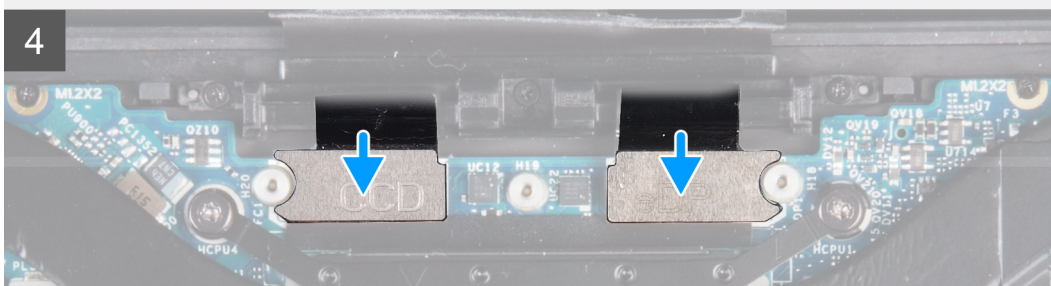
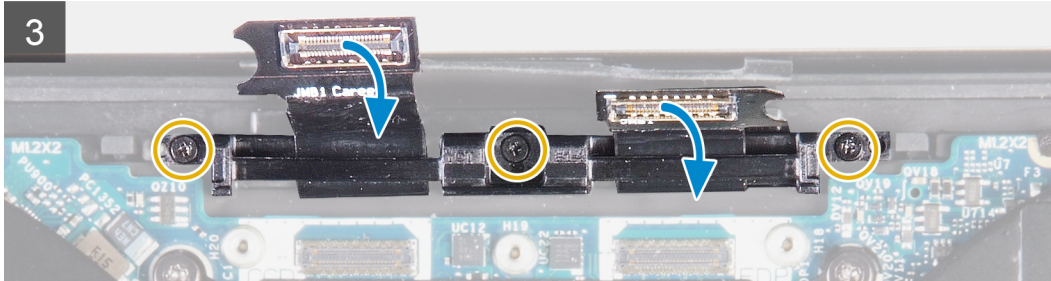
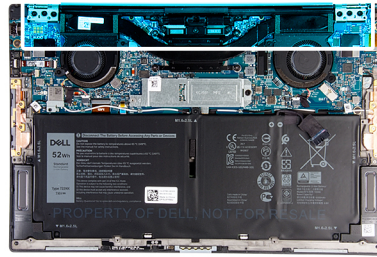
次の画像はディスプレイアセンブリの場所を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。





3x
M1.2x2

6x
M2.5x4.5



手順

1. パームレストとキーボード アセンブリをディスプレイアセンブリのヒンジの下にスライドさせます。
2. パームレストアセンブリのネジ穴をディスプレイヒンジのネジ穴の位置に合わせます。
3. 左のヒンジをシステム ボードおよびパームレストとキーボード アセンブリに固定する3本のネジ (M2.5x4.5) を取り付けます。
4. 右のヒンジをシステム ボードおよびパームレストとキーボード アセンブリに固定する3本のネジ (M2.5x4.5) を取り付けます。
5. ディスプレイアセンブリ ケーブル ホルダーのネジ穴をパームレストとキーボード アセンブリのネジ穴に合わせます。
6. ディスプレイアセンブリ ケーブル ホルダーをパームレストとキーボード アセンブリに固定する3本のネジ (M1.2x2) を取り付けます。

ⓘ メモ: ネジ山の損傷を防ぐため、3本のネジ (M1.2x2) を固定する際にはゆっくりと回転させてください。

7. カメラ ケーブルとモニター ケーブルをシステム ボードに接続します。
8. ディスプレイアセンブリ ブラケットのネジ穴を、システム ボードのネジ穴に合わせ、3本の拘束ネジを締めます。

次の手順

1. ベースカバーを取り付けます。
2. 「PC 内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

システム基板

システムボードの取り外し

前提条件

1. PC 内部の作業を始める前にの手順に従います。

i **メモ:** システムボードには、PC のサービス タグが保存されています。システムボードを取り付けた後、BIOS セットアッププログラムでこのサービス タグを入力する必要があります。

i **メモ:** システムボードを取り付けると、BIOS セットアッププログラムで行った BIOS への変更はすべて削除されます。システムボードを取り付けた後に、再度適切な変更を行う必要があります。

i **メモ:** システムボードからケーブルを外す前に、各コネクタの位置をメモしておき、システムボードの取り付け後に正しく元の場所に戻すことができるようにしてください。

2. ベースカバーを取り外します。

3. バッテリーを取り外します。

4. ファンを取り外します。

5. ヒートシンクを取り外します。

i **メモ:** システムボードは、取り付けられているヒートシンクと一緒に取り外したり取り付けたりすることができます。これにより、手順が簡素化され、システムボードとヒートシンクの間の熱ボンドが壊れるのを防止できます。

6. ソリッドステートドライブを取り外します。

7. ディスプレイアセンブリを取り外します。

このタスクについて

次のイメージは、システムボードのコネクタを示しています。

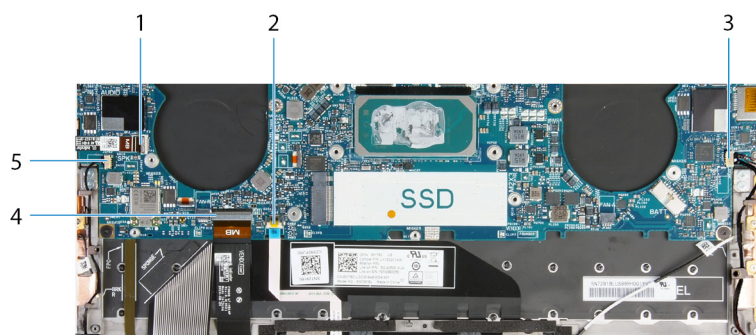
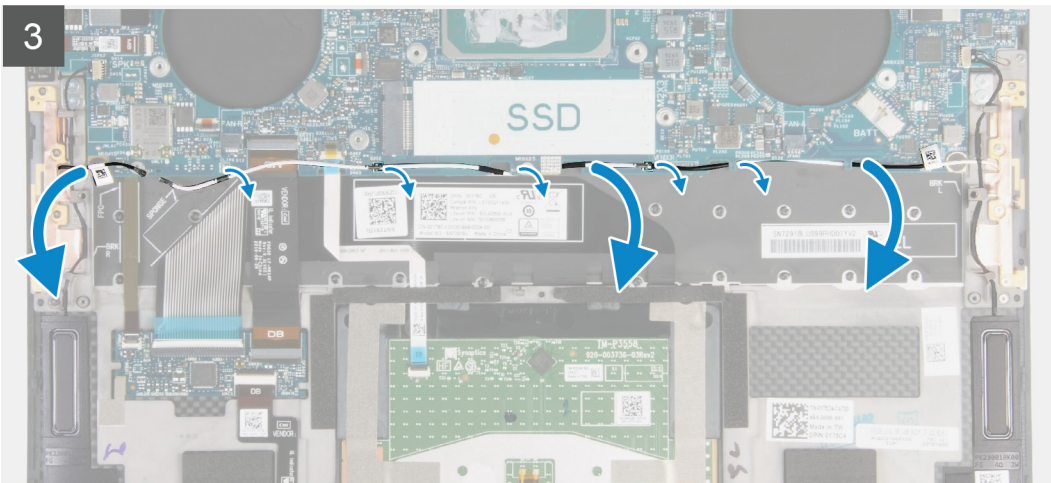
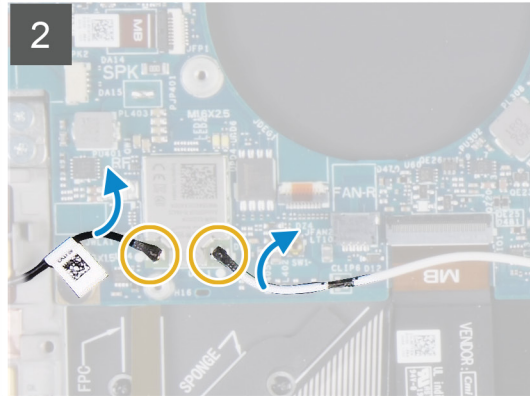
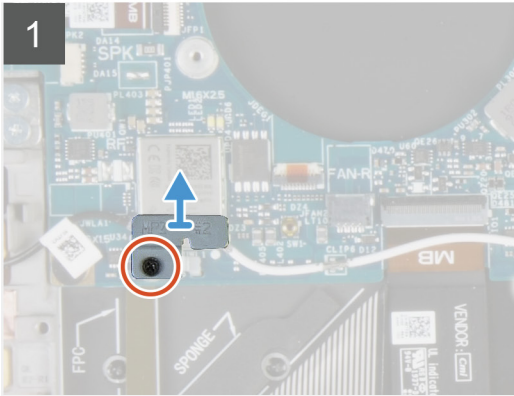
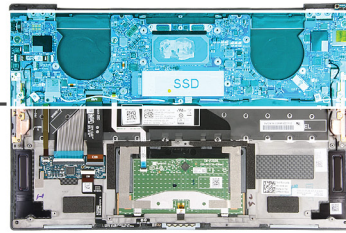
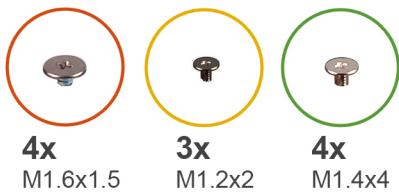


図 1. システムボードのコネクタ

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. 電源ボタンケーブル | 2. タッチパッドケーブル |
| 3. 右側のスピーカーケーブル | 4. キーボードケーブル |
| 5. 左側のスピーカーケーブル | |

次の画像はシステムボードの位置を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。

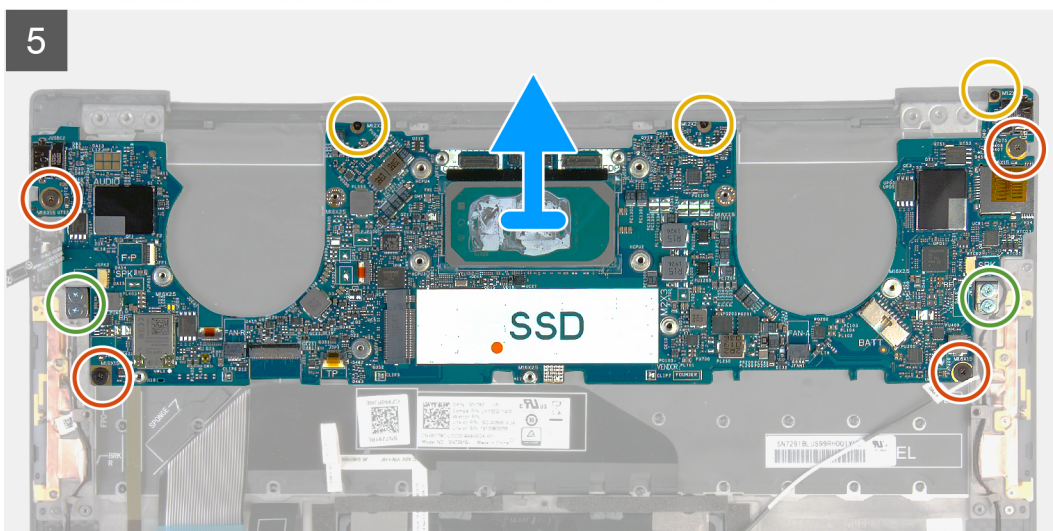
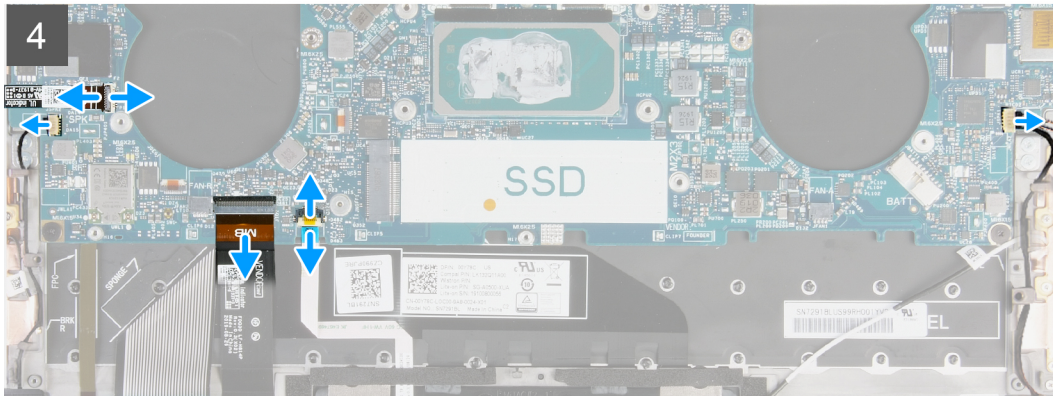




4x
M1.6x1.5

3x
M1.2x2

4x
M1.4x4



手順

1. ワイヤレスカード ブラケットをシステム ボードに固定する拘束ネジを緩めます。
2. ワイヤレスカード ブラケットを持ち上げて、システム ボードから取り外します。
3. プラスチック スクリライブを使用して、アンテナ ケーブルをワイヤレス カードから外します。
4. 左右のアンテナ ケーブルのルーティングに注意します。
5. ワイヤレス カードから順に、それぞれのアンテナに向かって各アンテナ ケーブルをルーティング ガイドから取り外します。
6. ラッチを開いて、電源ボタンと指紋認証リーダー ケーブルをシステム ボードから外します。
7. 右側のスピーカー ケーブルをシステム ボードから取り外します。
8. ラッチを開いて、システム ボードからキーボードケーブルを外します。
9. ラッチを開き、タッチパッド ケーブルをシステム ボードから外します。
10. 左側のスピーカー ケーブルをシステム ボードから取り外します。
11. システム ボードをパームレストとキーボード アセンブリーに固定している 4 本のネジ (M1.6x1.5) を外します。
12. システム ボードをパームレストとキーボード アセンブリーに固定している 3 本のネジ (M1.2x2) を外します。
13. システム ボードをパームレストとキーボード アセンブリーに固定している 4 本のネジ (M1.4x4) を外します。
14. システム ボードを持ち上げてパームレストとキーボード アセンブリーから取り外します。

システムボードの取り付け

前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

- ① **メモ:** システムボードには、PCのサービスタグが保存されています。システムボードを取り付けた後、BIOSセットアッププログラムでこのサービスタグを入力する必要があります。
- ① **メモ:** システムボードを取り付けると、BIOSセットアッププログラムで行ったBIOSへの変更はすべて削除されます。システムボードを取り付けた後に、再度適切な変更を行う必要があります。

このタスクについて

次のイメージは、システムボードのコネクタを示しています。

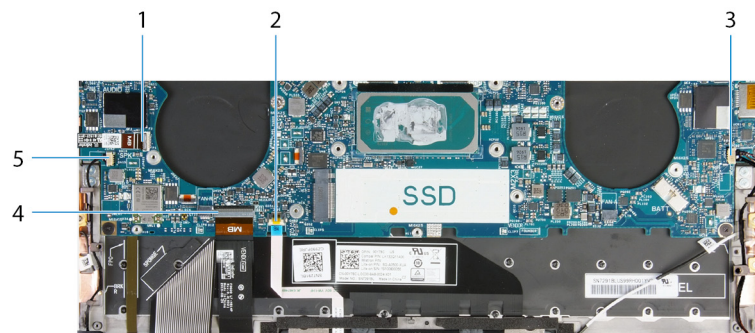


図 2. システムボードのコネクタ

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. 電源ボタンケーブル | 2. タッチパッドケーブル |
| 3. 右側のスピーカーケーブル | 4. キーボードケーブル |
| 5. 左側のスピーカーケーブル | |

次の画像は、システムボードの位置を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



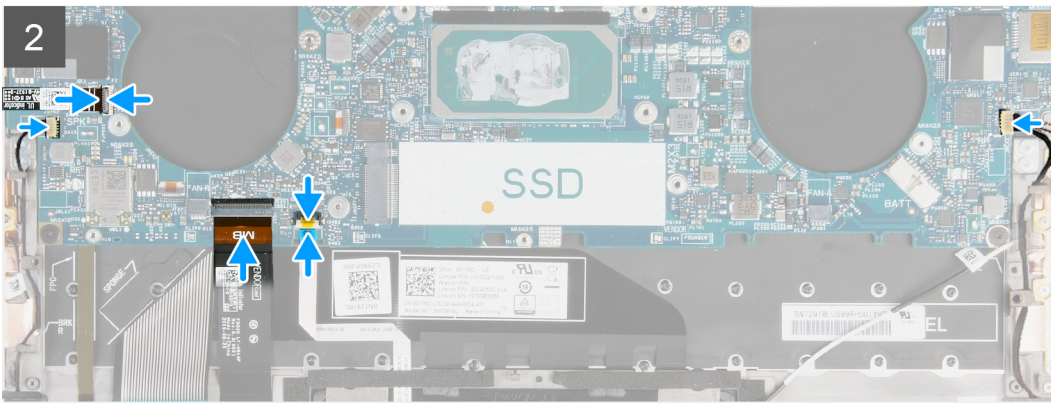
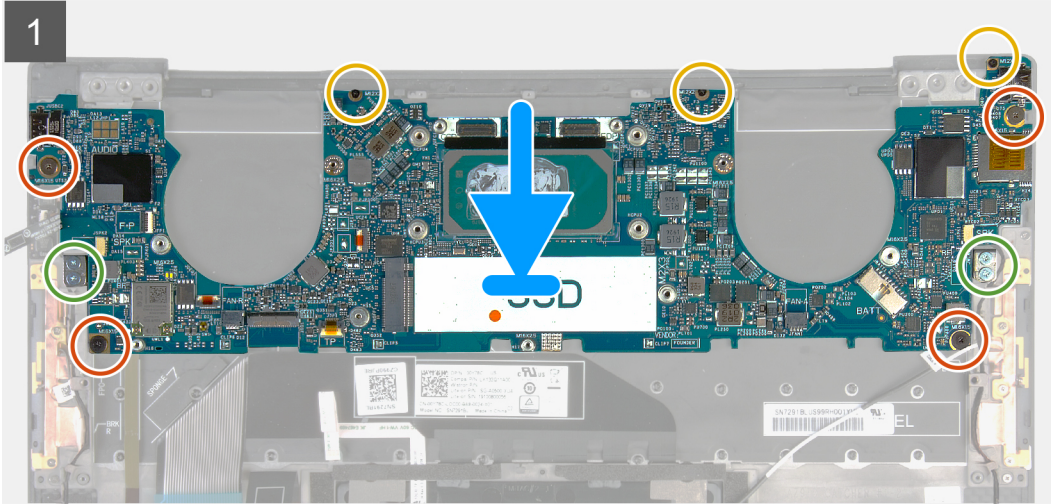
4x
M1.6x1.5

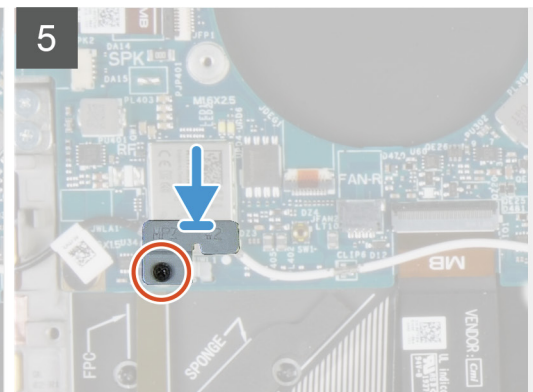
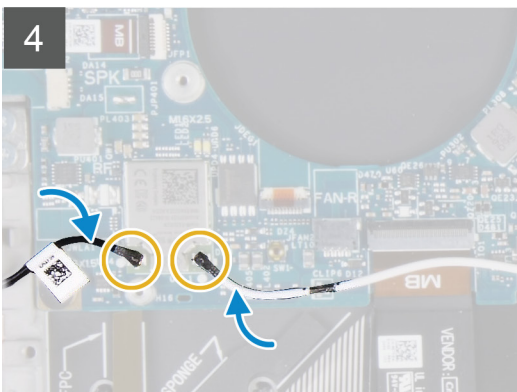
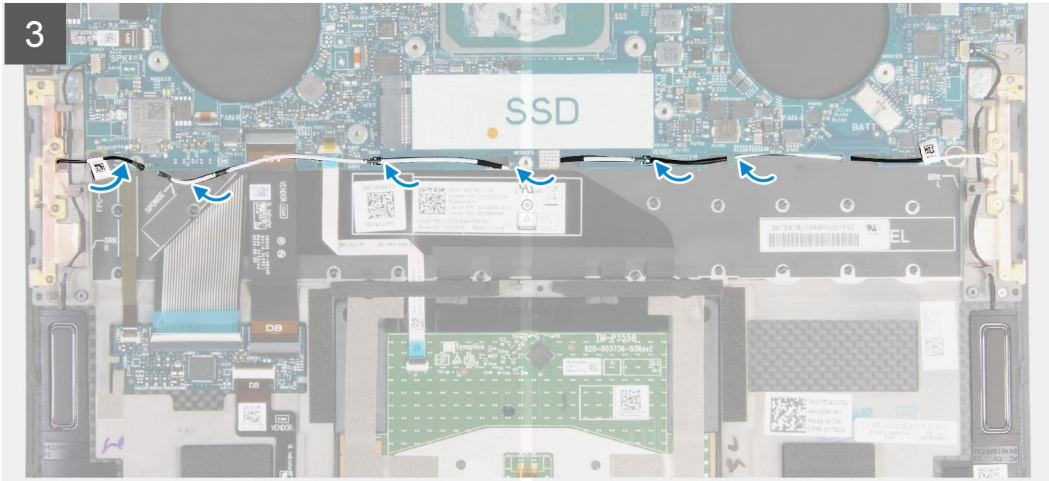
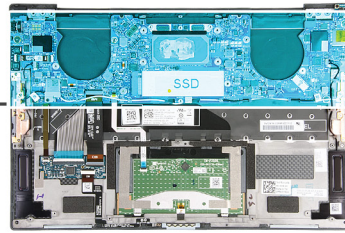


3x
M1.2x2



4x
M1.4x4





手順

1. システム ボードのネジ穴をパームレストとキーボード アセンブリーのネジ穴に合わせます。
2. システム ボードをパームレストとキーボード アセンブリーに固定する4本のネジ (M1.2x2) を取り付けます。
3. システム ボードをパームレストとキーボード アセンブリーに固定する3本のネジ (M1.2x2) を取り付けます。
4. システム ボードをパームレストとキーボード アセンブリーに固定する4本のネジ (M1.4x4) を取り付けます。
5. 電源ボタンと指紋認証リーダーケーブルをシステム ボードに接続し、ラッチを閉じてケーブルを固定します。
6. 右側のスピーカーケーブルをシステム ボードに接続します。
7. キーボードケーブルをシステム ボードに接続し、ラッチを閉じてケーブルを固定します。
8. タッチパッドケーブルをシステム ボードに接続し、ラッチを閉じてケーブルを固定します。
9. 左側のスピーカーケーブルをシステム ボードに接続します。
10. パームレストとキーボード アセンブリーのルーティングガイドに沿って、左右のアンテナケーブルをワイヤレスカードの方向へルーティングします。
11. アンテナケーブルをワイヤレスカードに接続します。
12. ワイヤレスカードブラケットのネジ穴をシステム ボードのネジ穴に合わせます。
ⓘ **メモ:** ワイヤレスカード ブラケットのタブがシステム ボードのスロットに挿入されていることを確認します。
13. ワイヤレスカード ブラケットをシステム ボードに固定する拘束ネジを締めます。

次の手順

1. ディスプレイ アセンブリーを取り付けます。
2. ソリッドステートドライブを取り付けます。
3. ヒートシンクを取り付けます。
① メモ: システム ボードは、取り付けられているヒート シンクと一緒に取り外したり取り付けたりすることができます。これにより、手順が簡素化され、システム ボードとヒートシンクの間の熱ボンドが壊れるのを防止できます。
4. ファンを取り付けます。
5. バッテリーを取り付けます。
6. ベースカバーを取り付けます。
7. 「PC 内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

パームレストとキーボードアセンブリ

パームレストとキーボードアセンブリーの取り外し

前提条件

1. PC 内部の作業を始める前
2. ベース カバーを取り外します。
3. バッテリーを取り外します。
4. ディスプレイ アセンブリーを取り外します。
5. システム ボードを取り外します。

このタスクについて

次の図は、パームレストとキーボードアセンブリーの場所を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



「前提条件」の手順を実行すると、パームレストとキーボードアセンブリが残ります。

パームレストとキーボードアセンブリーの取り付け

前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

次の図は、パームレストとキーボードアセンブリーの場所を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



手順

パームレストとキーボードアセンブリーを平らな面に置きます。

次の手順

1. システムボードを取り付けます。
2. ディスプレイアセンブリーを取り付けます。
3. バッテリーを取り付けます。
4. ベースカバーを取り付けます。
5. 「PC内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

ドライバおよびダウンロード

ドライバのトラブルシューティング、ダウンロードまたはインストールを行うときには、Dell ナレッジベースの記事「ドライバおよびダウンロードに関するよくあるお問い合わせ」([SLN128938](#))を読むことが推奨されます。

システム セットアップ

△ 注意: PC に詳しいユーザー以外は、BIOS セットアップ プログラムの設定を変更しないでください。特定の変更で PC が誤作動を起こす可能性があります。

① メモ: PC および取り付けられているデバイスによっては、本項にリスト表示されている項目の一部がない場合があります。

① メモ: BIOS セットアップ プログラムを変更する前に、後で参照できるように、BIOS セットアップ プログラム画面の情報を控えておくことをお勧めします。

BIOS セットアップ プログラムは次の目的で使用します。

- ・ RAM の容量やハード ドライブのサイズなど、PC に取り付けられているハードウェアに関する情報の取得。
- ・ システム設定情報の変更。
- ・ ユーザー パスワード、取り付けられたハード ドライブの種類、基本デバイスの有効化または無効化など、ユーザー選択可能オプションの設定または変更。

BIOS セットアッププログラムの起動

手順

1. PC の電源をオンにします。
2. 直ちに F2 を押して、BIOS セットアップ プログラムを入力します。

① メモ: キーを押すタイミングが遅れて、オペレーティング システムのロゴが表示されてしまったら、デスクトップが表示されるまでそのまま待機します。その後、PC の電源を切り、操作をやり直してください。

ナビゲーションキー

① メモ: ほとんどのセットアップユーティリティオプションで、**変更内容は記録されますが、システムを再起動するまでは有効になりません。**

表 2. ナビゲーションキー

キー	ナビゲーション
上矢印	前のフィールドに移動します。
下矢印	次のフィールドへ移動します。
入力	選択したフィールドの値を選択するか (該当する場合)、フィールド内のリンクに移動します。
スペースバー	ドロップダウンリストがある場合は、展開したり折りたたんだりします。
タブ	次のフォーカス対象領域に移動します。 ① メモ: 標準グラフィックブラウザー用に限られます。
Esc	メイン画面が表示されるまで、前のページに戻ります。メイン画面で Esc を押すと、未保存の変更の保存を促すメッセージが表示され、システムが再起動します。

ワンタイム ブート メニュー

ワンタイム ブート メニューを入力するには、PC の電源を入れて、すぐに F2 を押します。

メモ: PC がオンになっている場合は、シャットダウンすることをお勧めします。

ワнтаイム ブート メニューでは診断オプションを含むオプションから起動可能なデバイスを表示します。起動メニューのオプションは以下のとおりです。

- ・ リムーバブルドライブ(利用可能な場合)
- ・ STXXXX ドライブ(利用可能な場合)

メモ: XXX は、SATA ドライブの番号を意味します。

- ・ 光学ドライブ(利用可能な場合)
- ・ SATA ハード ドライブ(利用可能な場合)
- ・ 診断

メモ: Diagnostics (診断) を選択すると ePSA 診断画面が表示されます。

ブート シーケンス画面ではシステム セットアップ画面にアクセスするオプションを表示することも可能です。

システム セットアップのオプション

メモ: PC および取り付けられているデバイスによっては、本項に一覧表示されている項目の一部がない場合があります。

表 3. システム セットアップユーティリティのオプション — システム情報メニュー

概要

XPS 13 9300

BIOS Version	BIOS のバージョン番号を表示します。
サービス タグ	Pc のサービス タグを表示します
Asset Tag	PC の Asset Tag を表示します。
Manufacture Date	PC の製造日を表示します。
Ownership Date	PC の購入日を表示します。
Express Service Code	PC のエクスプレス サービス コードを表示します。
Ownership Tag	PC の所有者タグを表示します。
署名されたファームウェア アップデート	署名されたファームウェア アップデートが有効かどうかが表示されます。 デフォルト : Enabled
バッテリー	バッテリーの状態を表示します。
プライマリ (システム) パスワード	プライマリ バッテリーが表示されます。
バッテリー レベル	バッテリー レベルが表示されます。
バッテリー状態	バッテリー状態が表示されます。
正常性	バッテリーの状態を表示します。
AC アダプター	AC アダプターが接続されているかが表示されます。接続されている場合は、AC アダプターのタイプが表示されます。
プロセッサ	
Processor Type	プロセッサの種類を表示します。
Maximum Clock Speed	プロセッサの最高クロック スピードを表示します。
Minimum Clock Speed	プロセッサの最低クロック スピードを表示します。
Current Clock Speed	プロセッサの現在のクロック スピードを表示します。
Core Count	プロセッサのコアの数を表示します。
Processor ID	プロセッサの識別コードを表示します。
Processor L2 Cache	プロセッサの L2 キャッシュサイズを表示します。
Processor L3 Cache	プロセッサの L3 キャッシュサイズを表示します。

概要

マイクロコードのバージョン	マイクロコード バージョンを表示します。
インテル ハイパースレッディング対応	プロセッサがハイパースレッディング (HT) に対応しているかどうかを表示します。
64-Bit Technology	64 ビットテクノロジーが使用されているかどうかを表示します。
メモリー	
Memory Installed	インストールされている PC メモリーの合計を表示します。
Memory Available	使用可能な PC メモリーの合計を表示します。
Memory Speed	メモリー速度を表示します。
Memory Channel Mode	シングルまたはデュアル チャネルモードを表示します。
Memory Technology	メモリーに使用されているテクノロジーを表示します。
デバイス	
Panel Type	PC のパネルのタイプを表示します。
Video Controller	PC の内蔵グラフィックスの情報を表示します。
Video Memory	PC のビデオメモリー情報を表示します。
Wi-Fi Device	PC に取り付けられている Wi-Fi デバイスを表示します。
Native Resolution	PC のネイティブ解像度を表示します。
Video BIOS Version	PC のビデオ BIOS のバージョンを表示します。
Audio Controller	PC のオーディオコントローラー情報を表示します。
Bluetooth Device	Bluetooth デバイスが PC に取り付けられているかを表示します。
MAC アドレスのパススルー	ビデオ パススルーの MAC アドレスを表示します。

表 4. システム セットアップ オプション — 起動オプション メニュー

起動オプション

Boot Mode (起動モード)	
Boot Mode: UEFI only	この PC の起動モードを表示します。
Enable Boot Devices	Windows Boot Manager および UEFI ハード ドライブを有効または無効にします。 デフォルトでは、Windows Boot Manager が選択されています デフォルトでは、UEFI ハード ドライブが選択されています
ブート シーケンス	ブート シーケンスを表示します。
詳細起動オプション	
Enable UEFI Network Stack	UEFI ネットワーク スタックを有効または無効にします。 デフォルト : ON
UEFI Boot Path Security	F12 起動メニューから UEFI 起動パスを起動するときに、ユーザーに管理者パスワードの入力を求めるプロンプトを有効または無効にします。 デフォルト : Always Except Internal HDD

表 5. システムセットアップユーティリティのオプション — システム設定メニュー

システム設定

Date/Time	
日付	PC の日付を MM/DD/YYYY 形式で設定します。日付の変更はすぐに反映されます。
時刻	PC の時間を HH/MM/SS の 24 時間形式で設定します。12 時間クロックと 24 時間クロックを切り替えることができます。時間の変更はすぐに反映されます。

システム設定

ストレージ インターフェイス

Port Enablement
選択したオンボード ドライブを有効にします。
デフォルト：ON

SATA Operation

内蔵 SATA ハード ドライブ コントローラーの動作モードを設定します。
デフォルト：RAID オン。SATA は RAID (インテル Rapid Restore テクノロジー) をサポートするように設定されています。

ドライブ情報

各種オンボード ドライブの情報を表示します。

Enable SMART Reporting (SMART レポートを有効にする)

Self-Monitoring, Analysis, and Reporting Technology (SMART) を有効または無効にします。
デフォルト：OFF

Enable Audio (オーディオを有効にする)

すべての組み込み型オーディオ コントローラーを有効または無効にします。
デフォルト：ON

Enable Microphone (マイクロフォンを有効にする)

マイクロフォンを有効または無効にします。
デフォルトでは、[マイクロフォンを有効にする] が選択されています。

Enable Internal Speaker(内蔵スピーカーを有効にする)

内蔵スピーカーを有効または無効にします。
デフォルトでは、[内蔵スピーカーを有効にする] が選択されています。

USB 設定

外付ハード ドライブ、光学ドライブ、USB ドライブのような USB 大容量ストレージ デバイスからの起動を有効または無効にします。
デフォルトでは、[USB Boot Support を有効にする] が選択されています。
デフォルトでは、[外部 USB ポートを有効にする] が選択されています。

Thunderbolt Adapter Configuration

Enable Thunderbolt Technology Support
Thunderbolt テクノロジーのサポートを有効または無効にします。
デフォルト：ON

Enable Thunderbolt Boot Support
Thunderbolt 起動サポートを有効または無効にします。
デフォルト：OFF

Thunderbolt (および TBT の背景にある PCIe) のプリブート モジュールを有効化

プリブート時に Thunderbolt アダプターを介して PCIe デバイスに接続することを許可または拒否できるよう、機能を有効または無効にします。
デフォルト：OFF

Miscellaneous Devices

Enable Camera
各種オンボード デバイスを有効または無効にします。
カメラを有効または無効にします。
デフォルトでは、[カメラを有効にする] が選択されています。

タッチスクリーン
タッチスクリーンを有効または無効にします。
デフォルトでは、[タッチスクリーン] が選択されています。

Enable Fingerprint Reader Device
指紋認証リーダー デバイスを有効または無効にします。
デフォルトでは、[指紋認証リーダー デバイスを有効にする] が選択されています。

Enable MediaCard

すべてのメディア カードのオン/オフを切り替えたり、メディア カードを読み取り専用状態に設定したりすることができます。
デフォルトでは、[Enable Secure Digital (SD) Card] が選択されています。

Keyboard Illumination

キーボード ライト機能の動作モードを設定します。

	デフォルト : Bright。キーボード ライト機能を 100%の輝度レベルで有効にします。
Keyboard Backlight Timeout on AC (AC でのキーボードバックライトのタイムアウト)	AC アダプターが PC に接続されているときに、キーボードのタイムアウト値を設定します。キーボード バックライトのタイムアウト値は、バックライトが有効化されている場合にのみ有効です。 デフォルト : 10 seconds
Keyboard Backlight Timeout on Battery (バッテリーでのキーボードバックライトのタイムアウト)	PC がバッテリーで動作しているときに、キーボードのタイムアウト値を設定します。キーボード バックライトのタイムアウト値は、バックライトが有効化されている場合にのみ有効です。 デフォルト : 10 seconds

表 6. システム セットアップユーティリティのオプション — ビデオメニュー

ビデオ

LCD Brightness

Brightness on battery power	PC がバッテリー電源で動作しているときに、画面の輝度を設定します。 デフォルト : 50
Brightness on AC power	PC が AC 電源で動作しているときに、画面の輝度を設定します。 デフォルト : 100

表 7. システム セットアップユーティリティのオプション — セキュリティメニュー

セキュリティ

Enable Admin Setup Lockout (管理者セッ トアップロックアウトを有効にする)	管理者パスワードが設定されている場合に、ユーザーによる BIOS セットアップの 起動を有効または無効にします。 デフォルト : OFF
Password Bypass	システムの再起動中に、システム (起動) パスワードと内蔵ハード ドライブ パスワード入力のプロンプトをスキップすることができます。 デフォルト : Disabled
Enable Non-Admin Password Changes	管理者パスワードの必要なしで、ユーザーによるシステム パスワードとハード ドライブ パスワードの変更を有効または無効にします。 デフォルト : ON
Non-Admin Setup Changes	
Enable UEFI Capsule Firmware Updates	UEFI カプセル アップデート パッケージで BIOS アップデートを有効または無効 にします。 デフォルト : ON
Absolute	オプションの Absolute Software 社製 Absolute Persistence Module サービスの BIOS モジュール インターフェイスを、有効化、無効化、恒久的な無効化のいずれ かに設定することができます。 デフォルト : Enabled
TPM 2.0 Security On	Trusted Platform Model (TPM) が OS で認識されるかどうかを選択します。 デフォルト : ON
有効なコマンドの PPI をスキップ	TPM PPI 有効化およびアクティブ化コマンドの発行時に、OS が BIOS の物理プレ ゼンス インターフェイス (PPI) ユーザー プロンプトをスキップすることを有効 または無効にします。 デフォルト : OFF

セキュリティ

無効なコマンドの PPI をスキップ	TPM PPI 無効化および非アクティブ化コマンドの発行時に、OS が BIOS の PPI ユーザー プロンプトをスキップすることを有効または無効にします。 デフォルト：OFF
PPI Bypass for Clear Commands	クリア コマンドの発行時に、オペレーティングシステムによる BIOS 物理プレゼンス インターフェイス (PPI) ユーザー プロンプトのスキップを有効または無効にします。 デフォルト：OFF
Attestation Enable(アテステーションを有効にする)	TPM エンドースメント階層を OS で使用できるかどうかを制御することができます。この設定を無効にすると、シグネチャ操作のために TPM を使用する機能を制限します。 デフォルト：ON
Key Storage Enable	TPM エンドースメント階層を OS で使用できるかどうかを制御することができます。この設定を無効にすると、所有者データを保存するために TPM を使用する機能を制限します。 デフォルト：ON
SHA-256	BIOS の起動中に、BIOS と TPM が SHA-256 ハッシュアルゴリズムを使用して、測定を TPM PCR に拡張することを有効または無効にします。 デフォルト：ON
Clear (クリア)	PC による PTT 所有者情報のクリアを有効または無効にし、PTT をデフォルトの状態に戻します。 デフォルト：OFF
TPM State	TPM を有効または無効にします。これは完全な機能のアレイを使用する場合の TPM の通常の動作状態です。 デフォルト：Enabled
SMM Security Mitigation	追加の UEFI SMM セキュリティ緩和の保護を有効または無効にします。 デフォルト：OFF i メモ: この機能により、一部のレガシー ツールやアプリケーションで互換性の問題または機能の損失が発生する可能性があります。
Intel SGX	インテル Software Guard Extensions (SGX) によるコードの実行/機密情報の保存のための安全な環境の提供を有効または無効にします。 デフォルト：Software Control

表 8. システム セットアップ オプション — パスワード メニュー

パスワード

Enable Strong Passwords	強力なパスワードを有効または無効にします。 デフォルト：OFF
Password Configuration	
Admin Password Min (管理者パスワードの最小文字数)	管理者パスワードに使用できる最小文字数を指定します。 デフォルト：4
Admin Password Max (管理者パスワードの最大文字数)	管理者パスワードに使用できる最大文字数を指定します。 デフォルト：32
System Password Min (システムパスワードの最小文字数)	システムパスワードに使用できる最小文字数を指定します。 デフォルト：4

パスワード

System Password Max(システムパスワードの最大文字数)	システム パスワードに使用できる最大文字数を指定します。 デフォルト : 32
Admin Password	管理者 (admin) パスワード (「セットアップ」パスワードと呼ばれる場合もある) を設定、変更、または削除します。
System Password	システム パスワードを設定、変更、または削除します。
Enable Master Password Lockout	マスター パスワード サポートを有効または無効にします。 デフォルト : OFF

表 9. システム セットアップユーティリティのオプション — セキュア ブート メニュー

セキュア ブート

Enable Secure Boot	検証済みの起動ソフトウェアのみを使用した PC の起動を有効または無効にします。 デフォルト : ON ① メモ: [セキュア ブート] を有効にする必要がある PC は、UEFI 起動モードである必要があり、[レガシー オプション ROM を有効にする] オプションをオフにする必要があります。
Secure Boot Mode	[セキュア ブート] 動作モードを選択します。 デフォルト : Deployed Mode ① メモ: [セキュア ブート] の通常の動作を行うには、[デプロイド モード] を選択する必要があります。

表 10. システム セットアップ オプション — エキスパート キー管理メニュー

エキスパート キー管理

カスタムモードを有効にする	変更する PK、KEK、db、dbx のセキュリティ キー データベースのキーを有効または無効にします。 デフォルト : OFF
Custom Mode Key Management	エキスパート キー管理用にカスタム値を選択します。 デフォルト : PK

表 11. システム セットアップ オプション — パフォーマンス メニュー

パフォーマンス

Multi-Core Support	
Active Cores	オペレーティング システムで使用可能な CPU コアの数を変更します。デフォルト値は、コアの最大数に設定されています。 デフォルト : All Cores
Intel SpeedStep	
Enable Intel SpeedStep Technology	インテル SpeedStep テクノロジーがプロセッサの電圧とコア周波数を動的に調整し、平均電力消費量と発熱量を削減する機能を有効または無効にします。 デフォルト : ON
Enable C-State Control	低電力状態を開始して終了する CPU の機能を有効または無効にします。 デフォルト : ON
Intel ターボブーストテクノロジー	

パフォーマンス

Enable Intel Turbo Boost Technology プロセッサのインテル TurboBoost モードを有効または無効にします。有効な場合、インテル TurboBoost ドライバーは、CPU またはグラフィックス プロセッサのパフォーマンスを向上させます。

デフォルト：ON

Intel Hyper-Threading Technology

Enable Intel Hyper-Threading Technology プロセッサのインテル ハイパースレディング モードを有効または無効にします。有効にすると、複数のスレッドが各コアで実行されているときに、インテル ハイパースレディング モードでプロセッサリソースの効率性を向上させることができます。

デフォルト：ON

表 12. システム セットアップユーティリティのオプション — 電源管理メニュー

電源管理

Wake on AC (ウェイクオン AC) PC に AC 電源が供給されている場合に、PC の電源をオンにして起動できるようにします。

デフォルト：OFF

Wake on Dell USB-C Dock

Dell USB-C ドックを接続して、PC をスタンバイからウェイクさせることができます。

デフォルト：ON

Auto On Time

指定された日付と時刻に PC の電源を自動的にオンにすることができます。

デフォルト：Disabled (無効) システムは自動的に電源オンになりません。

Block Sleep

PC がオペレーティング システムでスリープ (S3) モードに入るのをブロックします。

デフォルト：OFF

メモ: 有効にした場合、PC はスリープにはならず、インテル Rapid Start は自動的に無効になり、オペレーティング システムの電源オプションは、スリープに設定されていた場合は空白になります。

バッテリーの充電設定

電力使用時間中に、バッテリーで PC を動作させることができます。以下のオプションを使用して、各日の特定の時間帯での AC 電源の使用を防止します。

デフォルト：Adaptive (適応) バッテリーの設定は、標準のバッテリー使用パターンに基づいて、順応的に最適化されます。

Enable Advanced Battery Charge Configuration

その日の始まりから指定した作業時間までの高度なバッテリー充電設定を有効にします。高度なバッテリー充電では、日中の頻繁な使用をサポートしつつバッテリーの正常性を最大限にします。

デフォルト：OFF

Peak Shift

ピーク電力消費時間中に、PC をバッテリーで動作させることができます。

デフォルト：OFF

Wireless Radio Control

Control WLAN radio (WLAN 無線の制御)

有線ネットワークへの PC の接続を検出し、その後、選択したワイヤレス無線 (WLAN および/または WWAN) を無効化できます。有線ネットワークが切断されると、選択したワイヤレス無線が再度有効になります。

デフォルト：OFF

Wake on LAN

PC が特別な LAN 信号によって電源がオンになることを有効または無効にします。

デフォルト：Disabled

電源管理

Intel Speed Shift Technology

Intel Speed Shift テクノロジーのサポートを有効または無効にします。このオプションを有効に設定すると、オペレーティングシステムが適切なプロセッサパフォーマンスを自動的に選択できるようになります。

デフォルト：ON

Lid Switch

Power On Lid Open

蓋を開けるたびに、PC の電源をオフ状態からオンにすることができます。

デフォルト：ON

表 13. システム セットアップユーティリティのオプション — ワイヤレスメニュー

ワイヤレス

Wireless Device Enable

内蔵 WLAN/Bluetooth デバイスを有効または無効にします。

デフォルトでは、[WLAN] が選択されています。

デフォルトでは、[Bluetooth] が選択されています。

表 14. システム セットアップユーティリティのオプション — POST 動作メニュー

POST 動作

Numlock Enable

Enable Numlock (Numlock を有効にする)

PC の起動時に Numlock を有効または無効にします。

デフォルト：ON

Fn Lock

Fn Lock モードを有効または無効にします。

デフォルト：ON

Lock Mode

デフォルト：Lock Mode Secondary。[ロック モード セカンダリ] = このオプションが選択されている場合は、F1~F12 キーを使用して、セカンダリ機能のコードをスキャンします。

Warnings and Errors

起動中に警告またはエラーが発生した場合の処置を選択します。

デフォルト：Prompt on Warnings and Errors。警告やエラーを検知した場合は、停止してプロンプトを表示し、ユーザー入力を待ちます。

① メモ: PC ハードウェアの動作にとって重要であると判断されたエラーは、常に PC を停止します。

Enable Adapter Warnings (アダプターの警告を有効にする)

電源容量が少なすぎるアダプターが検出された場合に、アダプターの警告メッセージを PC に表示させる機能を有効または無効にします。

デフォルト：ON

ドック警告メッセージの有効化

ドック警告メッセージを有効または無効にします。

デフォルト：ON

Fastboot

UEFI 起動プロセスの速度を設定します。

デフォルト：Thorough (完全) 起動中にハードウェアおよび設定の完全な初期化を行います。

Extend BIOS POST Time

BIOS POST (電源投入時の自己テスト) のロード時間を設定します。

デフォルト：0 seconds

Full Screen logo

イメージが画面の解像度に一致する場合、PC が全画面のロゴを表示する機能を有効または無効にします。

デフォルト：OFF

Mouse/Touchpad

PC によるマウスとタッチパッド入力の処理を定義します。

POST 動作

デフォルト：Touchpad and PS/2 Mouse。外付けの PS/2 のマウスがある場合は、統合タッチパッドを有効のままにしておきます。

Sign of Life

Early Logo Display

ディスプレイ ロゴのサイン オブ ライフ

デフォルト：ON

Early Keyboard Backlight

キーボード バックライトのサイン オブ ライフ

デフォルト：ON

MAC Address Pass- Through

外付 NIC の MAC アドレス (サポートされているドックまたは dongle のもの) が PC から選択された MAC アドレスに置き換えられます。

デフォルト：System Unique MAC Address

表 15. システム セットアップ オプション — 仮想化メニュー

仮想化

Intel Virtualization Technology

PC が仮想マシン モニター (VMM) を実行できるようにします。

デフォルト：ON

VT for Direct I/O

PC がダイレクト I/O の仮想化テクノロジー (VT-d) を実行できるようにします。VT-d は、メモリー マップ I/O の仮想化を実現するインテルの方法です。

デフォルト：ON

表 16. システム セットアップユーティリティのオプション — メンテナンスメニュー

メンテナンス

Asset Tag

Asset Tag

IT 管理者が使用できるシステム Asset Tag を作成し、特定のシステムを一意に識別します。BIOS で設定が完了すると、Asset Tag を変更することはできません。

サービス タグ

PC のサービス タグを表示します

BIOS Recovery from Hard Drive

起動ブロック部分が損傷を受けておらず、機能している限り、PC が不良な BIOS のイメージから回復できるようにします。

デフォルト：ON

メモ: BIOS リカバリーは、主要な BIOS ブロックを修正するように設計されており、起動ブロックが破損している場合は機能しません。さらに、この機能は、EC の破損、ME の破損、またはハードウェアの問題が発生した場合には機能しません。リカバリーイメージは、ドライブ上の暗号化されていないパーティションに存在している必要があります。

BIOS Auto-Recovery

PC がユーザーの操作なしで自動的に BIOS をリカバリーできるようにします。この機能を使用するには、ハードドライブからの BIOS リカバリーが有効に設定されている必要があります。

デフォルト：OFF

Start Data Wipe

注意: このセキュア消去操作は、情報を再構築できないように削除します。

有効な場合、BIOS は、次の再起動時に、マザーボードに接続されているストレージ デバイスのデータ消去サイクルをキューイングします。

デフォルト：OFF

Allow BIOS Downgrade (BIOS のダウングレードを許可する)

システム ファームウェアの以前のリビジョンへのフラッシングを制御します。

デフォルト：ON

表 17. システム セットアップユーティリティのオプション — システムログメニュー

システムログ

Power Event Log

Clear POWER Event Log 電源に関するイベントの保持またはクリアを選択します。
デフォルト : Keep

BIOS Event Log

Clear Bios Event Log BIOS に関するイベントの保持またはクリアを選択します。
デフォルト : Keep

Thermal Event Log

Clear Thermal Event Log 温度に関するイベントの保持またはクリアを選択します。
デフォルト : Keep

表 18. システム セットアップ オプション — SupportAssist メニュー

SupportAssist

Dell Auto OS Recovery Threshold

SupportAssist システム解決策コンソールや Dell オペレーティング システム リカバリー ツールの自動起動フローを制御します。
デフォルト : 2

SupportAssist OS Recovery

特定のシステム エラーの発生時に、SupportAssist オペレーティング システム リカバリー ツールの起動フローを有効または無効にします。
デフォルト : ON

BIOSConnect

主要オペレーティング システムが起動に失敗し、その失敗回数が Auto OS Recovery Threshold セットアップ オプションで指定した値以上である場合に、クラウド サービスの OS リカバリー実行を有効または無効にします。
デフォルト : ON

Windows での BIOS のアップデート

前提条件

システム ボードを交換する場合やアップデートが入手できる場合は、BIOS (セットアップ ユーティリティ) をアップデートすることをお勧めします。ノートパソコンの場合、お使いの PC のバッテリーがフル充電されていて電源に接続されていることを確認してください。

このタスクについて

メモ: BitLocker が有効になっている場合は、システム BIOS をアップデートする前に一時停止し、BIOS のアップデート完了後に再度有効にする必要があります。


手順

1. PC を再起動します。
2. **Dell.com/support** にアクセスしてください。
 - ・ サービス タグやエクスプレス サービス コードを入力し、送信をクリックします。
 - ・ [**Detect Product**] をクリックして、画面に表示される指示に従います。
3. サービス タグを検出または検索できない場合は、[**Choose from all products**] をクリックします。
4. リストから **Products** カテゴリを選択します。
 - メモ:** 該当するカテゴリを選択して製品ページに移動します。
5. お使いの PC モデルを選択すると、その PC の製品サポートページが表示されます。
6. **Get drivers** をクリックし、**Drivers and Downloads** をクリックします。

[Drivers and Downloads] セクションが開きます。

7. [**Find it myself**] をクリックします。
8. [**BIOS**] をクリックして BIOS のバージョンを表示します。
9. 最新の BIOS ファイルを選んで、**Download** をクリックします。
10. **Please select your download method below** ウィンドウで希望のダウンロード方法を選択し、**ファイルのダウンロード** をクリックします。
ファイルのダウンロードウィンドウが表示されます。
11. ファイルを PC に保存する場合は、**保存** をクリックします。
12. **実行** をクリックしてお使いの PC に更新された BIOS 設定をインストールします。
画面の指示に従います。


BitLocker が有効なシステムでの BIOS のアップデート

 **注意:** BitLocker を一時停止せずに BIOS をアップデートすると、次回システムを再起動した際、BitLocker キーが認識されません。その後、続行するためにはリカバリー キーの入力を求められ、これは再起動のたびに要求されるようになります。リカバリー キーが不明な場合は、データ ロスの原因となったり、本来必要のないオペレーティングシステムの再インストールが必要になったりする可能性があります。この問題の詳細については、次のナレッジベース記事を参照してください。 <https://www.dell.com/support/article/sln153694>

USB フラッシュ ドライブを使用したシステム BIOS のアップデート

このタスクについて

システムが Windows にロードできないときに、BIOS をアップデートする必要がある場合は、別のシステムを使用して BIOS ファイルをダウンロードし、ブータブル USB フラッシュ ドライブに保存します。

 **メモ:** ブータブル USB フラッシュ ドライブを使用する必要があります。詳細については、次の記事を参照してください。 <https://www.dell.com/support/article/sln143196/>

手順

1. BIOS アップデート.EXE ファイルを別のシステムにダウンロードします。
2. ファイル (O9010A12.EXE など) をブータブル USB フラッシュ ドライブにコピーします。
3. BIOS のアップデートを必要とするシステムに、USB フラッシュ ドライブを挿入します。
4. システムを再起動し、デルのスプラッシュ ログが表示されたら F12 を押して、ワン タイム ブート メニューを表示します。
5. 矢印キーを使用して、**USB ストレージ デバイス** を選択し、[Return] をクリックします。
6. システムが起動し、Diag C:\>プロンプトが表示されます。
7. 完全なファイル名 (O9010A12.exe など) を入力して [Return] を押し、ファイルを実行します。
8. BIOS アップデート ユーティリティがロードされます。画面の手順に従います。

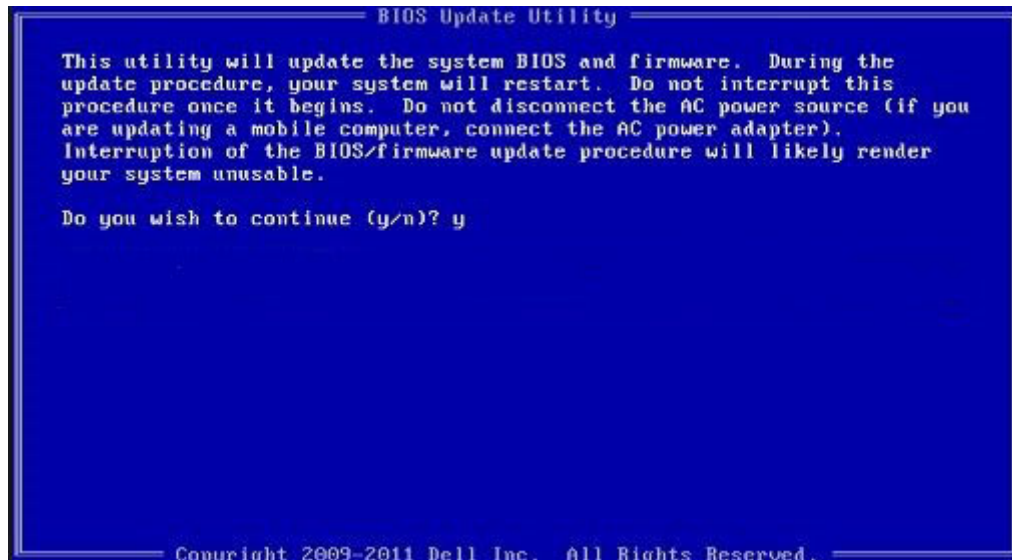


図 3. DOS の BIOS アップデート画面

Linux および Ubuntu 環境での Dell BIOS のアップデート

Ubuntu などの Linux 環境でシステム BIOS をアップデートする場合は、<https://www.dell.com/support/article/sln171755/>を参照してください。

F12 ワンタイム ブート メニューからの BIOS のフラッシュ

FAT32 USB キーにコピーされた BIOS アップデート.exe ファイルを使用したシステム BIOS のアップデートと、F12 ワンタイム ブート メニューからのブート

このタスクについて

BIOS のアップデート

ブータブル USB キーを使用して Windows から BIOS アップデート ファイルを実行するか、システムの F12 ワンタイム ブート メニューから BIOS をアップデートできます。

2012 年より後に構築されたほとんどの Dell 製システムにはこの機能があり、システムを F12 ワンタイム ブート メニューで起動することにより、システムのブート オプションとして [BIOS FLASH アップデート] がリストされていることを確認できます。このオプションがリストされている場合、BIOS はこの BIOS アップデート オプションをサポートします。

メモ: F12 ワンタイム ブート メニューに [BIOS Flash アップデート] オプションがあるシステムのみがこの機能を使用できます。

ワンタイム ブート メニューからのアップデート

F12 ワンタイム ブート メニューから BIOS をアップデートするには、以下のものがが必要です。

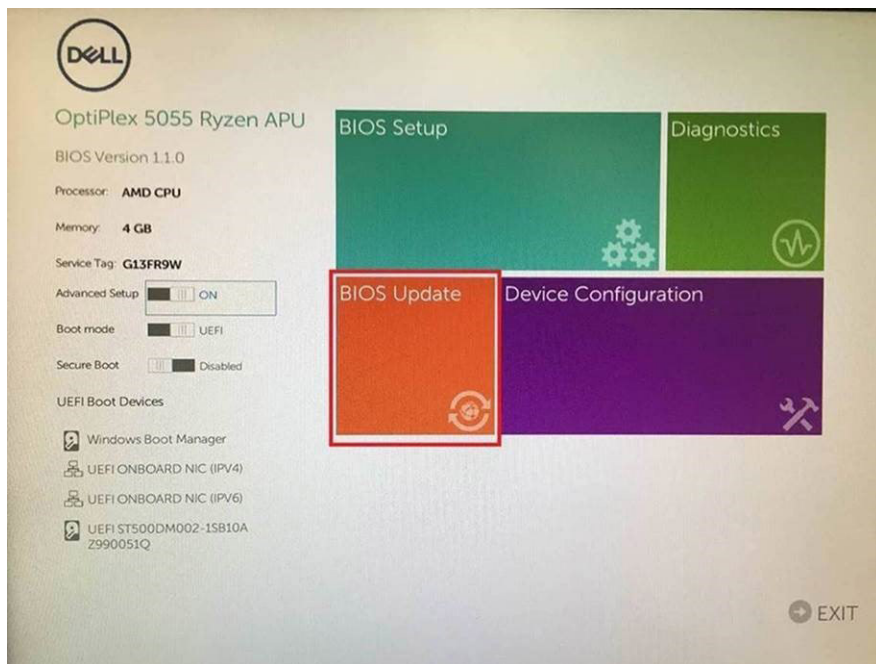
- ・ FAT32 ファイル システムにフォーマットされた USB キー (キーはブータブルでなくてもよい)
- ・ Dell サポート用 Web サイトからダウンロードして、USB キーの root にコピーした BIOS 実行可能ファイル
- ・ システムに接続された AC 電源アダプター
- ・ BIOS をフラッシュする動作可能なシステム バッテリ

F12 メニューから BIOS アップデート フラッシュ プロセスを実行するには、次の手順を実行します。

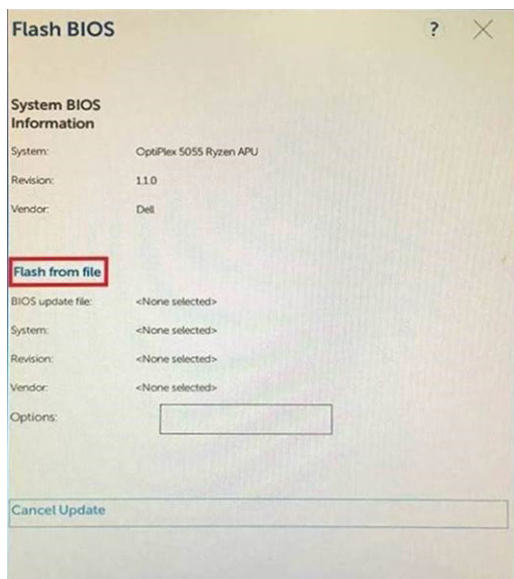
注意: BIOS のアップデート プロセス中にシステムの電源をオフにしないでください。システムの電源をオフにすると、システムが起動しない可能性があります。

手順

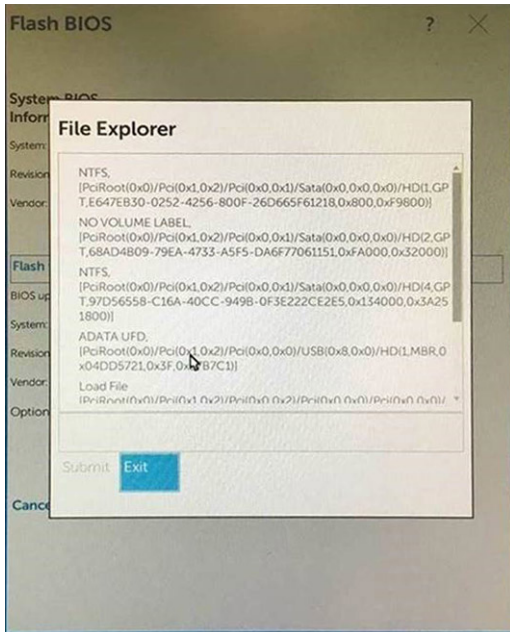
1. 電源オフの状態から、フラッシュをコピーした USB キーをシステムの USB ポートに挿入します。
2. システムの電源をオンにし、F12 キーを押してワンタイム ブート メニューにアクセスし、マウスまたは矢印キーを使用して [BIOS アップデート] をハイライト表示し、**Enter** を押します。



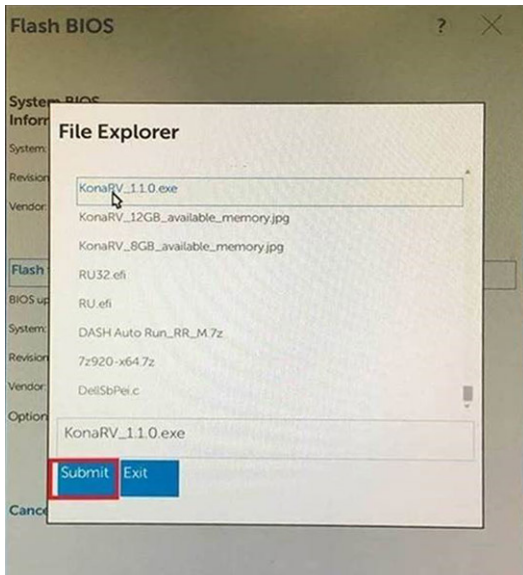
3. BIOS フラッシュ メニューが開いたら、[**Flash from file**] をクリックします。



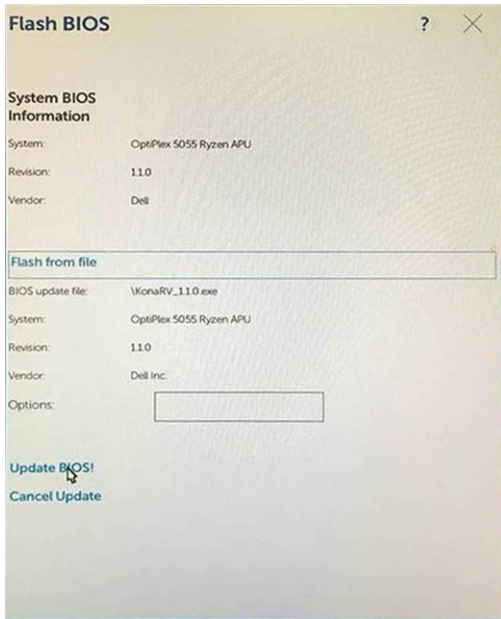
4. 外部 USB デバイスを選択します。



5. ファイルが選択されたら、フラッシュターゲットファイルをダブルクリックし、[Submit] を押します。



6. BIOS をアップデートするをクリックします。システムが再起動して BIOS をフラッシュします。



7. 完了するとシステムが再起動し、BIOS のアップデート プロセスが完了します。

システムパスワードおよびセットアップパスワード

表 19. システムパスワードおよびセットアップパスワード

パスワードの種類	説明
システムパスワード	システムにログインする際に入力が必要なパスワードです。
セットアップパスワード	お使いの PC の BIOS 設定にアクセスして変更をする際に入力が必要なパスワードです。

システムパスワードとセットアップパスワードを作成してお使いの PC を保護することができます。

△ 注意: パスワード機能は、PC 内のデータに対して基本的なセキュリティを提供します。

△ 注意: PC をロックせずに放置すると、PC 上のデータにアクセスされる可能性があります。

ⓘ メモ: システムパスワードとセットアップパスワード機能は無効になっています。

システム セットアップパスワードの割り当て

前提条件

ステータスが**未設定**の場合のみ、新しいシステム パスワードまたは**管理者**パスワードを割り当てることができます。

このタスクについて

システム セットアップを入力するには、電源投入または再起動の直後に F2/F12 を押します。

手順

- [システム BIOS]画面または[システム セットアップ]画面で[セキュリティ]を選択し、Enter を押します。
[セキュリティ]画面が表示されます。
- [システム/管理者パスワード]を選択し、[新しいパスワードを入力]フィールドでパスワードを作成します。
以下のガイドラインに従ってシステムパスワードを設定します。
 - パスワードの文字数は 32 文字までです。
 - 0 から 9 までの数字を含めることができます。

- ・ 小文字のみ有効です。大文字は使用できません。
- ・ 特殊文字は、次の文字のみが有効です：スペース、()、(+)、(,)、(-)、(.)、(/)、(;)、([)、(\)、(])、(`)

3. **新しいパスワードの確認**フィールドで以前入力したシステムパスワードを入力し、**OK** をクリックします。
4. Esc を押すと、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。
5. Y を押して変更を保存します。
PC が再起動します。

既存のシステム セットアップパスワードの削除または変更


前提条件

既存のシステム パスワードおよび/またはセットアップ パスワードを削除または変更しようとする前に、[パスワード ステータス]が (システム セットアップで) ロック解除になっていることを確認します。パスワード ステータスがロックされている場合は、既存のシステム パスワードやセットアップ パスワードを削除または変更できません。

このタスクについて

システム セットアップを入力するには、電源投入または再起動の直後に F2/F12 を押します。

手順


1. [システム BIOS]画面または[システム セットアップ]画面で、[システム セキュリティ]を選択し、Enter を押します。
System Security (システムセキュリティ) 画面が表示されます。
2. システムセキュリティ画面でパスワードステータスが**ロック解除**に設定されていることを確認します。
3. [システム パスワード]を選択し、既存のシステム パスワードを変更または削除して、Enter または Tab を押します。
4. [セットアップ パスワード]を選択し、既存のセットアップ パスワードを変更または削除して、Enter または Tab を押します。
 **メモ:** システム パスワードおよび/またはセットアップ パスワードを変更する場合、プロンプトが表示されたら、新しいパスワードを再入力します。システム パスワードおよび/またはセットアップ パスワードを削除する場合、プロンプトが表示されるので削除を確認します。
5. Esc を押すと、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。
6. Y を押して変更を保存しシステム セットアップを終了します。
PC が再起動します。

CMOS 設定のクリア

このタスクについて

 **注意:** CMOS 設定をクリアすると、PC の BIOS 設定がリセットされます。


手順

1. PC の電源を切ります。
2. ベース カバーを取り外します。
 **メモ:** バッテリーをシステム ボードから外す必要があります (ベース カバーの取り外しの手順 4 を参照してください)。
3. 待機電力を逃がすため、電源ボタンを 15 秒間押し続けます。
4. PC の電源を入れる前に、ベース ベース カバーの取り付けの順に従います。
5. PC の電源を入れます。

BIOS (システム セットアップ) パスワードとシステム パスワードのクリア

このタスクについて

システムまたは BIOS パスワードをクリアするには、Dell テクニカル サポート (www.dell.com/contactdell) にお問い合わせください。

 **メモ:** Windows またはアプリケーションのパスワードをリセットする方法については、Windows またはお使いのアプリケーションに付属のマニュアルを参照してください。

トラブルシューティング

オペレーティングシステムのリカバリ

コンピューターで何度か試行してもオペレーティングシステムが起動されない場合、Dell SupportAssist の OS のリカバリが自動的に起動します。

Dell SupportAssist の OS のリカバリは、Windows 10 オペレーティングシステムがインストールされているすべての Dell コンピューターにはプレインストールされているスタンドアロン ツールです。コンピューターでオペレーティングシステムが起動される前に発生する問題を診断してトラブルシューティングするツールで構成されています。ハードウェアの問題の診断、コンピューターの修復、ファイルのバックアップ、コンピューターの出荷時状態への復元を行うことができます。

ソフトウェアやハードウェアの障害が原因でプライマリ オペレーティングシステムを起動できない場合、Dell サポート用 Web サイトからダウンロードし、コンピューターをトラブルシューティングして修正できます。

Dell SupportAssist の OS のリカバリの詳細については、www.dell.com/support にある「Dell SupportAssist OS Recovery User's Guide」を参照してください。

ePSA (強化された起動前システムアセスメント) 診断

このタスクについて

ePSA 診断 (システム診断とも呼ばれる) ではハードウェアの完全なチェックを実行します。ePSA は BIOS に組み込まれており、BIOS によって内部で起動します。組み込み型システム診断プログラムには、特定のデバイスまたはデバイス グループ用の一連のオプションが用意されており、以下の処理が可能です。

- ・ テストを自動的に、または対話モードで実行
- ・ テストの繰り返し
- ・ テスト結果の表示または保存
- ・ 詳細なテストで追加のテストオプションを実行し、障害の発生したデバイスに関する詳しい情報を得る
- ・ テストが問題なく終了したかどうかを知らせるステータスメッセージを表示
- ・ テスト中に発生した問題を通知するエラーメッセージを表示

メモ: 特定のデバイスについては、ユーザーによる操作が必要なテストもあります。診断テストを実行する際は、コンピューター端末の前に必ずいるようにしてください。

ePSA 診断の実行

手順

1. コンピューターの電源を入れます。
2. コンピューターが起動し、Dell のロゴが表示されたら <F12> キーを押します。
3. 起動メニュー画面で、**診断** オプションを選択します。
4. 左下隅にある矢印をクリックします。
診断のトップページが表示されます。
5. 右上隅にある矢印をクリックして、ページのリストに移動します。
検知されたアイテムが一覧表示されます。
6. 特定のデバイスで診断テストを実行するには、<Esc> を押して **はい** をクリックし、診断テストを中止します。
7. 左のパネルからデバイスを選択し、**テストの実行** をクリックします。
8. 問題がある場合、エラーコードが表示されます。
エラーコードと検証番号をメモしてデルに連絡してください。

システム診断ライト

継続的に点灯している場合は、電源およびバッテリー充電のステータスライトは、お使いのPCの電源モードを示します。異なるパターンで点滅している場合は、電源およびバッテリー充電のステータスライトは、お使いのPCが直面しているそれぞれの問題を示していることとなります。

継続点灯の電源およびバッテリー充電のステータスライト

次の表では、電源およびバッテリー充電のステータスライトに基づいたPCのステータスをリスト表示しています。

表 20. 電源およびバッテリー充電ステータスライト

電源およびバッテリー充電ステータスライト	PCのステータス
ソリッドホワイ	<ul style="list-style-type: none">電源アダプターに接続され、バッテリーがフル充電されています。電源アダプターに接続され、バッテリーの充電量が5%を超えています。
橙色	PCがバッテリーで動作しており、バッテリーの充電量は5%未満です。
消灯	PCがスリープ状態、休止状態、または電源オフの状態です。

点滅時の電源およびバッテリー充電のステータスライト

電源およびバッテリーのステータスライトが橙色の点灯と消灯を交互に繰り返して点滅している場合は、お使いのPCで発生している問題を示していることとなります。

例えば、電源およびバッテリーステータスライトが、橙色に2回点滅して停止し、次に白色に3回点滅して停止します。この2,3のパターンは、PCの電源が切れるまで続き、メモリーまたはRAMが検出されないことを示しています。

次の表では、さまざまな電源およびバッテリーのステータスライトの点灯パターンに加え、関連する問題を示しています。

表 21. LEDコード

診断ライトコード	問題の内容
2,1	プロセッサの不具合
2,2	システムボード：BIOSまたはROM(読み取り専用メモリー)の障害です
2,3	メモリーまたはRAM(ランダムアクセスメモリー)が検出されません
2,4	メモリーまたはRAM(ランダムアクセスメモリー)の障害です
2,5	無効なメモリーが取り付けられています
2,6	システムボードまたはチップセットのエラーです
2,7	ディスプレイの障害です
2,8	LCD母線の障害です。
3,1	CMOSバッテリーの障害です
3,2	PCI、ビデオカード/チップの障害です
3,3	リカバリーイメージが見つかりません
3,4	検出されたリカバリーイメージは無効です
3,5	母線の障害です
3,6	システムBIOSのフラッシュが不完全です
3,7	マネジメント・エンジン(ME)エラー

待機電力のリリース

このタスクについて

待機電力とは、PCの電源をオフにし、バッテリーをシステムボードから取り外したあともPCに残っている静電気のことです。以下は、待機電力を放出する手順です。

手順

1. PCの電源を切ります。
2. ベースカバーを取り外します。
メモ: バッテリーをシステムボードから外す必要があります(ベースカバーの取り外しの手順4を参照してください)。
3. 待機電力を逃がすため、電源ボタンを15秒間押し続けます。
4. ベースカバーを取り付けます。
5. PCの電源を入れます。

WiFi電源の入れ直し

このタスクについて

お使いのPCがWiFi接続の問題によりインターネットに接続できない場合、WiFiの電源を入れ直すことで問題を解決できる場合があります。次の手順では、WiFiの電源の入れ直し方法について説明します。

メモ: 一部のISP(インターネットサービスプロバイダー)は、モデム/ルーターコンポデバイスを提供しています。

手順

1. PCの電源を切ります。
2. モデムの電源を切ります。
3. ワイヤレスルーターの電源を切ります。
4. 30秒待ちます。
5. ワイヤレスルーターの電源を入れます。
6. モデムの電源を入れます。
7. PCの電源を入れます。

「困ったときは」と「デルへのお問い合わせ」

セルフヘルプリソース

セルフヘルプリソースを使ってデルの製品とサービスに関するヘルプ情報を取得できます。

表 22. セルフヘルプリソース

セルフヘルプリソース	リソースの場所
デルの製品とサービスに関する情報	www.dell.com
マイデルダウンロード	
ヒント	
サポートへのお問い合わせ	Windows 検索に Contact Support と入力し、Enter を押します。
オペレーティングシステムのオンラインヘルプ	www.dell.com/support/windows www.dell.com/support/linux
トラブルシューティング情報、ユーザズガイド、セットアップ方法、製品仕様、テクニカルサポートブログ、ドライバ、ソフトウェアのアップデートなど。	www.dell.com/support
コンピュータのさまざまな問題に関するデルのナレッジベースの記事。	<ol style="list-style-type: none"> www.dell.com/support にアクセスします。 主題またはキーワードを検索ボックスに入力します。 検索をクリックして、関連記事を取得します。
お使いの製品について、次の情報を把握します。	www.dell.com/support/manuals の『Me and My Dell』を参照してください。
<ul style="list-style-type: none"> 製品仕様 オペレーティングシステム 製品のセットアップと使用 データのバックアップ トラブルシューティングと診断 工場出荷時の状態とシステムの復元 BIOS 情報 	<p>お使いの製品に関する <i>Me and My Dell</i> を探すには、次のいずれかの方法で製品を特定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 製品を検出を選択します。 製品の表示のドロップダウンメニューで製品を見つけます。 検索バーに、サービスタグ番号または製品 ID を入力します。

デルへのお問い合わせ

販売、テクニカルサポート、カスタマーサービスに関するデルへのお問い合わせは、www.dell.com/contactdell を参照してください。

- ① **メモ:** 各種サービスのご提供は国/地域や製品によって異なり、国/地域によってはご利用いただけないサービスもございます。
- ① **メモ:** お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。